

事業報告

2023.....訪問看護認定看護師による
在宅ケア・在宅看取り活動の推進
事業報告書

はじめに

会員の皆様、いつも本会の活動にご尽力いただきまして、本当に感謝いたします。

2023年4月。日本訪問看護認定看護師協議会は、法人第10期を迎えました。

さかのぼること2009年8月。私たちの協議会は、当時、全国各地で個々に活躍していた訪問看護認定看護師約100名の先輩方が、訪問看護認定看護師のネットワーク構築と、仲間と共に訪問看護認定看護師としての質の向上を目指すことの必要性を感じて日本訪問看護認定看護師協議会を設立したのが始まりです。そして、2014年10月、さらなる活動の充実を目指し、一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会として法人化されました。

それから約10年、本会は訪問看護、在宅ケア認定看護師登録者数の約半数が入会する大所帯となり、今年12月には、一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会の法人第10期記念交流会を、東京で開催することができました。協議会の立ち上げから今日に至るまで携わった方々には、多大なご尽力を賜りましたこと、改めて有難うございますという感謝の気持ちで一杯であります。

さて、2024年の元旦に能登半島地震があり、今まで当たり前にあった日常が一瞬で壊されるという、自然災害には太刀打ちできない人間の無力さを痛感する事態が起きました。その中でも、仲間の活動を心配し続ける本会の会員たちでLINEグループを作成し、情報共有をいたしました。私たちの協議会で何ができるか？を探りながら、今日までいます。被災地支援に入った会員から、様々ないのちに向き合う看護を提供していることを報告いただき、その姿勢や視点に、やっぱり訪問看護、在宅ケア認定看護師だなと再認識いたしております。

我が国は、これから多死社会に入ります。そして、当たり前前に暮らしてきた地域の中で、最期まで過ごしたいと言う団塊の世代が後期高齢者に入ります。私たちは、在宅療養を支えるために訪問看護認定看護師、在宅ケア認定看護師として役割を果たし、リーダーシップを発揮するこの時代に生きています。そのため、私たちはチャレンジし続けることを忘れないで前進していきたいです。

これからも当たり前前に看取りができる訪問看護師を育成しながら、そして、子供から高齢者まで選ぶことなく、目の前にあるいのちに向き合い続けることを誓いながら、日本訪問看護認定看護師協議会は今後も発展し続けます。

最後に、日本財団様におかれましては多大なるご支援をいただきましたこと、心より感謝いたします。

2024年3月吉日

一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会
代表理事 大橋 奈美

－ 目 次 －

はじめに

第1章 事業の概要	1
1 事業の目的	
2 事業の目標	
3 事業のスケジュール	
第2章 事業の活動報告	7
1 ブロック活動	
(1) 北海道ブロック	
(2) 東北ブロック	
(3) 北関東ブロック	
(4) 関東ブロック	
(5) 南関東ブロック	
(6) 東海北陸ブロック	
(7) 近畿ブロック	
(8) 中四国ブロック	
(9) 九州ブロック	
2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023	
3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動	
4 訪問看護ステーションのBCP作成支援	
5 報酬改定に向けた活動	
第3章 事業の評価	45
1 ブロック活動	
2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023	
3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動	
4 訪問看護ステーションのBCP作成支援	
5 報酬改定に向けた活動	
別添資料	51
1 会員数及び9ブロック図	
2 組織について	
3 理事会の開催	
4 会員活動調査集計結果（一部抜粋）	
訪問看護認定看護師数・在宅ケア認定看護師数（日本看護協会 認定部資料）	

第1章 事業の概要

- 1 事業の目的
- 2 事業の目標
- 3 事業のスケジュール

1. 事業の目的

平成4年の老人訪問看護制度発足以降、在宅での医療ニーズは拡大し、0歳から100歳超への様々な年代、難病、精神疾患、先天性疾患など多様な支援が必要となった。

現在の日本の医療政策では、急性期が過ぎて症状が安定した患者は在宅療養生活への移行を推進しているため、更なる拡大が予測される。患者や家族が自宅に戻った場合、介護保険制度等の利用も促進されているが、患者本人や家族が担う役割も多い。しかし、利用者の高齢化、独居世帯の増加などから患者本人や家族が担いきれない状況もある。また、地域の在宅医療資源や質の格差が生じ対応できず、施設での生活も、望まない施設での生活を余儀なくされている現状がある。

このような背景から、以下のとおり目標を設定した。

中長期目的 ※3年後

- ブロック活動を通じて個々の質向上を図り、地域で基幹的な役割を担うことができる
- 地域に旬な情報発信を行い、地域の訪問看護師や事業所の質向上を図り格差を是正できる
- 地域住民へ在宅療養に関する情報発信を行い、地域全体で住民生活の支援ができる
- 2025年度で会員数571名を目指す

最終目的

多くの人々が「住みなれた場所・地域」で心豊かに生活が継続でき、人生最期の時まで自身の望んだ場所で過ごすことができる社会を目指す。そのために医療・看護・介護従事者、住民、自治体が連携し在宅看取りも選択できる社会となることを目的とする。

2. 事業の目標

(1) 自己研鑽活動

① ブロック活動支援

〔内容〕全国9ブロックごとに訪問看護及び在宅ケア認定看護師の自己研鑽を目的とした活動の実施

〔目標〕活動実施報告書作成・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

② 総会及び同時開催研修会・交流会

〔内容〕協議会会員が一堂に会する場を年2回設ける

〔目標〕全会員を対象とした研修会、交流会の実施・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

(2) 地域貢献・社会活動

① 訪問看護事業所の運営改善相談活動・多機能化サポート活動

〔内容〕非会員を含む訪問看護従事者を対象とした、訪問看護ステーション運営等に関するミニ講座と座談会の実施

〔目標〕参加者20名・参加者アンケートによる満足度評価で8割満足

② 訪問看護ステーションの BCP 作成支援

〔内容〕 非会員を含む訪問看護従事者を対象とした、訪問看護ステーションの BCP 作成支援の実施

〔目標〕 参加事業所 3 か所・参加者アンケートによる満足度評価で 8 割満足

③ 報酬改定に向けた活動

〔内容〕 前年度取りまとめを行った意見書の再調整・関係省庁へ提出。次回提言するテーマの検討

〔目標〕 関係各所へ提出

(3) 組織・広報力の強化

① 組織・広報力の強化

〔内容〕 ホームページや Facebook による情報発信。事業報告書の制作・配布。理事会を年 3 回、理事ブロック長合同会議を年 2 回実施する。入会促進 PR を行う

〔目標〕 ホームページでの活動報告書の公開。事業報告書及び協議会パンフレットの制作。2023 年度訪問看護及び在宅ケア認定看護師合格者の 8 割入会

以上の活動によって、訪問看護認定看護師及び在宅ケア認定看護師の社会的意義を高め、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる人材となり、結果、地域住民がその人らしく最期まで暮らせる社会の構築に寄与する。

3. 事業スケジュール

本事業は、以下のスケジュールで行った

	月	日	内容	ブロック	開催方法
2023	4	11	ブロック会議	関東	Zoom
		15	ブロック会議	北関東	Zoom
		22	ブロック会議	北関東	Zoom
		25	第 1 回運営委員会	BCP 支援	Zoom
	5	10	ブロック会議	東海北陸	Zoom
		13	第 1 回理事会	—	Zoom
		19	ブロック会議	九州	Zoom
		20	交流会・ブロック会議	南関東	Zoom
		23	第 2 回運営委員会	BCP 支援	Zoom
		29	ブロック会議	北関東	Zoom

2023	6	10	第10期定時総会	－	Zoom
			2023年度 総会同時開催研修会	－	Zoom
		14	要望書提出	報酬改定	－
		20	ブロック会議	関東	Zoom
		21	ブロック活動支援担当者ミーティング	－	Zoom
		27	ブロック会議	北関東	Zoom
			第3回運営委員会	BCP支援	Zoom
	7	8	第1回ブロック長会議	－	Zoom
		12	ブロック会議	東海北陸	Zoom
		23	ブロック会議	北海道	Zoom
		25	第4回運営委員会	BCP支援	Zoom
		26	ブロック会議	南関東	Zoom
	8	5	研修会・ブロック会議	東北	Zoom
			ブロック会議・交流会	南関東	Zoom
		9	交流会	中四国	Zoom
		12	ブロック会議	北関東	Zoom
		19	交流会・会議	北関東	Zoom
		22	第5回運営委員会	BCP支援	Zoom
		26	第2回ブロック長会議	－	Zoom
		27	研修会・ブロック会議	近畿	ハートピア京都 (ハイブリッド開催)
			ブロック会議	九州	Zoom
	30	第1回運営会議	ミニ講座	Zoom	
	9	2	第2回理事会	－	Zoom
		6	ブロック会議	九州	Zoom
		9	研修会	中四国	Zoom
		13	Zoomリハーサル	東海北陸	Zoom
			ブロック会議	九州	Zoom
		14	ブロック会議	南関東	Zoom
		16	研修会	関東	Zoom
			地域向け研修会①	中四国	Zoom
		23	ブロック会議	北海道	Zoom
		25	ブロック会議	九州	Zoom
		26	第6回運営委員会	BCP支援	Zoom
		29	ブロック会議	南関東	Zoom

2023	9	30	研修会・ブロック会議	南関東	Zoom	
			研修会・ブロック会議	東海北陸	名古屋市熱田区サテライト訪問看護ステーション (ハイブリッド開催)	
	10	14	地域向け研修会②	中四国	Zoom	
		24	第7回運営委員会	BCP 支援	Zoom	
		28	研修会・ブロック会議	東北	Zoom	
		30	第2回運営会議	ミニ講座	Zoom	
	11	1	臨時理事会	—	Zoom	
		12	ブロック会議	九州	Zoom	
		15	ブロック会議	東海北陸	Zoom	
		18	ミニ講座&座談会 第3回運営会議	ミニ講座	Zoom	
		25	ブロック会議・交流会	南関東	Zoom	
		27	第1回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom	
		28	第1回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom	
		29	ブロック会議	南関東	Zoom	
	12	2	Zoom リハーサル	北関東	Zoom	
		9	法人第10期記念交流会 2023	—	AP 東京八重洲 (ハイブリッド開催)	
		10	Zoom リハーサル・ブロック会議	北関東	Zoom	
		13	Zoom リハーサル・ブロック会議	北関東	Zoom	
		14	第2回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom	
		16	地域向け研修会・ブロック会議	北関東	Zoom	
		17	第2回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom	
		21	ブロック会議	近畿	Zoom	
	2024	1	13	研修会	北海道	Zoom
				ブロック会議	南関東	Zoom
			14	ブロック会議	九州	Zoom
			17	Zoom リハーサル	東海北陸	Zoom
			20	ブロック会議	北関東	Zoom
				ブロック会議・研修会	南関東	Zoom
27			ブロック会議	関東	Zoom	
			交流会・ブロック会議	東海北陸	訪問看護ステーション太陽・千種(ハイブリッド開催)	
			研修会・交流会・ブロック会議	九州	ナースプラザ福岡 303 研修室(ハイブリッド開催)	

2024	1	30	第3回事前打ち合わせ	BCP 支援	Zoom
		31	第3回 BCP 作成支援	BCP 支援	Zoom
	2	2	PR 活動	北関東	—
		3	ブロック会議	北関東	Zoom
		17	交流会・ブロック会議	南関東	Zoom
	3	2	第3回理事会（予定）	—	Zoom
			理事・ブロック長合同会議（予定）		

※開催方法についてはその時の状況によるが、オンライン開催を基本とした

※2月22日時点での取りまとめのため、それ以降については予定

第2章 事業の活動報告

- 1 ブロック活動
 - (1) 北海道ブロック
 - (2) 東北ブロック
 - (3) 北関東ブロック
 - (4) 関東ブロック
 - (5) 南関東ブロック
 - (6) 東海北陸ブロック
 - (7) 近畿ブロック
 - (8) 中四国ブロック
 - (9) 九州ブロック
- 2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023
- 3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動
- 4 訪問看護ステーションのBCP作成支援
- 5 報酬改定に向けた活動

1. ブロック活動

- 1) 北海道ブロック（ブロック長：高橋亜希子氏）
正会員数 9名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 7月23日(日)	ブロック会議	• 近況報告、情報交換 • 今年度の研修会の検討	6名
9月23日(土)	ブロック会議	• 今年度の研修会の打ち合わせ • 次年度の研修会について • 近況報告、情報交換など	5名
2024年 1月13日(土)	研修会	• ブロック研修会 「看護とスピリチュアルケア～ケアする名の心のケア」	6名

(2) 活動を通して

ブロック会議は、広い北海道の各地にいる会員各々と情報交換ができ、活動や近況を知ることができる、とても有意義な場であり、会員同士が唯一、顔が見える貴重な場となっている。

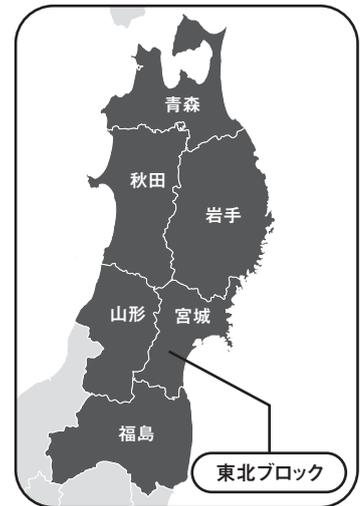
会員が少ないため研修についても希望や意見がまとまりやすく、自分たちの普段の困り事や知りたい事に合った研修会を行うことができた。

研修会ではケアする人の心ケアや己の安定が大切であることを学び、モチベーションアップにつなげることができた。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください。



2) 東北ブロック (ブロック長：平澤利恵子氏)
正会員数 9名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月5日(土)	研修会	宮城県立大学教授の高橋和子先生を講師に迎え、オンラインで「新卒訪問看護師について」のタイトルで研修会を開催した。新卒訪問看護師の傾向や育ち方について学ぶ機会を得た	7名
	ブロック会議	来年度の活動計画を話し合い、10周年記念行事の進捗状況等の報告があった	7名
2024年 1月13日(土)	研修会	8月の研修会の継続という形で「新卒訪問看護師について」の第2弾を開催した。新卒訪問看護師の事を学ぶ機会だったが、結果的には人として、社会人として、訪問看護ステーションで働く仲間の事を思う機会となった	4名
	ブロック会議	研修会後に開催予定だったブロック会議だったが個々に緊急訪問や別件会議等が入ったため、後日ライン等で今後の事を話し合うこととした	4名

(2) 活動を通して

2回に分けて同じテーマの研修会という形をとり、1回目から次会の研修が楽しみと思えるような内容で開催できたことは、講師のお人柄に尽きるのかなと感じている。会員のほとんどが役職についていたり、地域の中心となって活動している事から、どうしても本業の方を優先せざるを得なく、会議にならない状態(人員不足)になるという事態にもなり、今後の活動の仕方も見直していかなければならないとも思える1年であった。

来年は自己研鑽という形の研修会ではなく、できれば地域のためになるような形での研修が企画できれば良いと考えている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。

QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



3) 北関東ブロック (ブロック長：山橋直子氏)
正会員数 35名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月15日(土)	ブロック会議	第1回役員会 ● ブロック会議の事前打ち合わせ	12名
4月22日(土)	ブロック会議	第1回ブロック会議 ● 今年度の活動計画 ● 研修会の運営メンバー募集について	20名
5月29日(月)	ブロック会議	第1回地域向け研修会の運営会議 ● 「おひとり様の在宅看とり」をテーマに企画検討	10名
6月27日(火)	ブロック会議	第2回地域向け研修会の運営会議 ● 研修会の目的や目標についての意見交換	9名
8月12日(土)	ブロック会議	第2回役員会 ● ブロック会議の事前打ち合わせ	9名
8月19日(土)	交流会	認定看護師の活動内容の共有：実践報告より 「ICT（インターネットコミュニケーション）を活用した独居高齢者の在宅看取りを他職種で支えるシステムづくり」	21名
	ブロック会議	第2回ブロック会議 ● 地域向け研修会企画の進捗状況 ● 次年度ブロック活動計画の立案	21名
12月2日(土)	リハーサル	第3回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 通しリハーサル	9名
12月10日(日)	リハーサル	第4回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 修正箇所の確認作業とZoom操作の練習	5名
12月13日(水)	リハーサル	第5回地域向け研修会の運営会議・Zoomリハーサル ● 最終確認	3名
12月16日(土)	研修会	地域向け研修会 「待ったなし！おひとり様支援！～最期まで暮らすために私達ができること～」	57名

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 12月16日(土)	ブロック会議	第3回ブロック会議 • 研修会の振り返り	11名
2024年 1月20日(土)	ブロック会議	第3回役員会 • 来年度の役員体制 • ブロック会議の事前打ち合わせ	12名
2月2日(金)	PR活動	お誘い活動 新たな訪問看護認定看護師の方へ協議会の案内を郵送	1名
2月3日(土)	ブロック会議	第4回ブロック会議 • 今年度の活動の振り返り • 参加者の近況報告会	16名

(2) 活動を通して

会員の方が活動に参加しやすいブロック！を目標に今年度も活動を行った。毎年「どのような活動をやりたいか」会員の方から広く意見を集めて活動に繋げている。

前期は「他の認定看護師の活動を知って、自身の活動の参考にしたい」という意見から、自己研鑽と会員内の交流を目的に交流会を開催した。実践報告から「ICTを活用した独居高齢者の在宅看取りを他職種で支えるシステムづくり」を発表いただき、活発に意見交換が行えた。

後期には、地域貢献を目的に地域向け研修会を開催した。ここ2年ほど看護師対象の研修会が続いたため、今年度は「多職種同士が専門職としての考え方や視点などお互いを知り、理解を深め合える内容にしたい」と意見がまとまり、おひとり様の在宅看取りをテーマに、看護師の他、介護支援専門員などを対象に研修会を開催し、定員を超える参加者が集まった。研修後の参加者アンケートからは「本当に楽しく元気が出るお話を伺った。ワクワクした!」「とても感銘を受けた研修だった」との声をいただいた。研修会委員からは「運営に携わったことで自地域での研修会の運営に役立った」「準備は大変だったが、やって良かった。学ぶことも多かった」との声も聞かれており、自己研鑽へつながっている。

研修会の準備には、役員以外に研修会委員をもうけているが、運営全般に時間と労力がかかっており、それを分散できるような役割分担やICT活用で効率化をはかることが今後の課題となっている。

ブロック会議や交流会の参加者は年々増えており、活動内容だけでなく、ブロックが組織化できていることも影響していると考えている。

そして、昨年度に引き続き、非会員の訪問看護・在宅ケア認定看護師の方に、北関東ブロックの活動ちらしと挨拶状を郵送しているため、さらに、一緒に活動に参加してくださるお仲間が増えることを期待している。

情報共有や活動を共に行うことで、互いに刺激となり認定看護師としての学びにつながっていると実感できている。今後も参加しやすい、参加したいと思える北関東ブロックを築いていきたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



4) 関東ブロック (ブロック長：山田富恵氏)
正会員数 54名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月11日(火)	会議	第1回ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動計画、役割分担、自己紹介 研修内容検討 	7名
6月20日(火)	会議	第2回ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> 研修詳細検討、決定。開催月日、講師。係決定 ニュースレター発行について 	6名
9月16日(土)	研修会	「ケアするためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」	10名
2024年 1月27日(土)	会議	第3回ブロック会 <ul style="list-style-type: none"> 交流会を活動報告のニュースレターに替える ニュースレター内容検討 	6名

(2) 活動を通して

今期、関東ブロック内の会員の確保と、今必要と思われる知識の研修会の開催と会員同士の交流が盛んになることを目標として活動を行った。ブロック長の交代があり、後任者のパソコン環境不良もあって、連絡の滞りがあり、全体に活動が不十分になったが、オンラインでの会議開催や、ニュースレターでの活動の周知などに努めた。

約3年のコロナ禍を経て、対面研修で交流を深めたかったが、再流行の懸念もあり、ケア提供側の閉塞感や孤独感へ配慮したマインドケアの研修を行った。

来期は、関東ブロック範囲内で集まりやすく交流しやすい工夫として小ブロックに分けるなどを行い、より参加しやすい会員活動につなげたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



5) 南関東ブロック (ブロック長: 三橋由佳氏)
正会員数 24名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 5月20日(土)	交流会	第1回『看取りを考える会』 • 設立の経緯 今後の活動の方向性の確認	9名
	会議	第1回ブロック会議・新旧役員顔合わせ • 今年度の計画について確認・検討 • 交流会「看取りを考える会」の詳細検討	6名
7月26日(水)	会議	第2回ブロック会議 • 9月30日研修会の内容決定	5名
8月5日(土)	会議	第3回ブロック会議 • 9月30日の研修会の進捗状況の確認 • 次年度計画予定の検討	4名
	交流会	第2回『看取りを考える会』 • 看取り後のグリーフケア ターミナル期の輸液について などフリートーク	9名
9月14日(木)	会議	第4回ブロック会議 • 9月30日研修会の最終調整 当日のレジюмеなどの確認 • ブロック会議役割分担アンケートの記載内容検討	4名
9月29日(金)	会議	第5回ブロック会議 • Zoom テスト レジюме最終調整	6名
9月30日(土)	研修会	第1回研修会 『在宅看取りにおける ACP・意思決定支援の進め方』 講師: 横浜市立大学准教授 日下部明彦先生	41名
	会議	第6回ブロック会議 • 研修会の反省会 • 第2回研修会1月20日の内容と講師決定 • 11月25日の交流会の内容決定	4名
11月25日(土)	会議	第7回ブロック会議 • 1月20日の研修会の検討 役割分担確認	4名

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 11月25日(土)	交流会	第3回『看取りを考える会』 • 事例検討会	12名
11月29日(水)	会議	第8回ブロック会議 • 1月20日研修会の参加対象者について、準備の役割分担 • 2024年度第1回全体研修会について 内容：コンサルテーションについて 講師：南関東ブロック 伊藤さん	4名
2024年 1月13日(土)	会議	第9回ブロック会議 • 1月20日の当日の流れ検討	4名
1月20日(土)	会議	第10回ブロック会議 • Zoom調整 講師を交えての研修会の流れの確認	4名
	研修会	第2回研修会 『心がざわつくターミナル事例をじっくり多方面から触れてみませんか?』 スーパーバイザー：悠の木訪問看護ステーション 青木悠紀子氏(南関東ブロック)	11名
2月17日(土)	交流会	第4回『看取りを考える会』 • グループホームの看取りについて	9名
	会議	第11回ブロック会議 • 事業報告書の確認 • 次年度の予定や役員の交代について	4名

(2) 活動を通して

2021年度「在宅看取りを实践できる訪問看護師の育成事業」の各ブロック開催実施後、当ブロックでは『看取り』に焦点を当て、交流会をもっと充実したものにし、会員数を増やす布石としたいと、交流会を『看取りを考える会』として活動を開始した。賛同して下さった加入者11名程度で旗揚げし、以後、役割分担しながら進めている。利害関係のない仲間だからこそ、普段職場では解決できない心境なども共有でき、認定としての役割なども深めることにつながった。

『看取り』に関連して、2回の研修会も構築した。1回目は、ACP・意思決定支援を基本から学び直し、伝える側の立場になる自分たちのスキルアップを目的とした。協議会全体に呼びかけ、外部講師に著名な医師をお招きすることができたこともあって、41名という集客がかなっている。医療倫理に深く関係する内容だったため、非常に濃い学びができたアンケートでも結果が得られている。2回目は、看取りの事例検討会を実施し、認定としての活動である「相談」部分のスキルアップを目的とした。事例そのものが非常に練りこまれているものであり、スーパーバイザーに当ブロックのエキスパートをお招きでき、時間がたつのも忘れるほどの濃い検討内容となった。今回、参加募集先を、訪問看護(在宅ケア)認定コースの学生さん方にも拡大したが、ちょうど授業などと重なり参加者が募れなかった。今後も、協議会の活動を知っていただくためにも広報していく必要があると考えた。

6) 東海北陸ブロック (ブロック長：山端二三子氏)
正会員数 106 名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023 年 5 月 10 日 (水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 2023 年度の東海北陸ブロック活動内容と役員との役割確認 9 月の研修会内容と当日までの行動計画立案 	9 名
7 月 12 日 (水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 9 月研修会案内チラシ案 役員との役割確認 	8 名
9 月 13 日 (水)	Zoom リハ	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 30 日研修会の Zoom リハーサル 当日における役割と進行の最終確認 	11 名
9 月 30 日 (土)	研修会	「在宅ケアにおける倫理」 ～共同意思決定支援のプロセスを進めよう～ 講師：東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 会田薫子先生	52 名
	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 研修会の振り返りから課題と検討 来年度の活動計画について 1 月の交流会内容の検討 	11 名
11 月 15 日 (水)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> 1 月 27 日交流会の進捗状況 	10 名
2024 年 1 月 17 日 (水)	Zoom リハ	<ul style="list-style-type: none"> 1 月 27 日交流会 Zoom リハーサル 当日における役割と進行の最終確認 	8 名
1 月 27 日 (水)	交流会	1. 認定看護師の 5 年目更新報告 2. 活動報告 ①これからの看護教育－今どきの学生をどう育てるか ②高齢化率の高い過疎地でのその名らしい最期の支援 ③医療的ケア児支援の実際と課題への取組み ④「在宅における倫理」研修受講後に倫理検討シートを活用した事例検討会をおこなって 3. グループワークで情報・意見交換	32 名

開催日	活動項目	概要	参加数
1月27日(土)	会議	役員会議 <ul style="list-style-type: none"> ● 交流会の振り返り ● 来年度の活動計画と研修会のテーマを検討 	10名

(2) 活動を通して

今年度も会員の活動に必要な知識と指導力、実践能力を高めることを目標に研修会と交流会を開催した。研修会は在宅支援で起こり得る倫理的ジレンマに適切に対処できる力を養うことを目的に「在宅における倫理」を開催した。交流会では会員の活動を知り、個々の活動に活かすことを目的に活動報告とグループワークをおこなった。

この1年間の活動成果は研修会や交流会から、参加した会員が共に学びを深め合い、考え合い、そして、刺激し合えたことから自己の課題を明確にし活動に繋げることができた。それは、研修会や交流会のアンケート結果において「大変理解できた、理解できた」が100%であった。感想や意見からは「事業所で取組みたい」「実践したい」「元気をもらえた」「一步を踏み出す勇気と力をもらった」等の多くの声があった。これは、それぞれが活動を知ることや学び得たことが今の活動を振り返る機会となり、自己の課題や取組みに繋げることができたと感じている。来年度は、今年度の研修や交流会で学びを深めた「在宅における倫理」を更に深めたいと考え、訪問看護ステーションに多国籍の療養者が増えていることから、多国籍の療養者支援の研修を検討している。

今後の課題は昨年度と同様の参加率が50%前後であり、参加率を上げるための対策である。今年度の参加率向上に開催時間の変更、他県ブロックの参加、Zoomで開催したが、参加率は変わりなかった。東海北陸ブロック役員は、和やかに楽しく共に学びたい、語り合いたいと研修会や交流会を企画しているが、どのような対策が最善であるかは引き続き検討していきたい。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



7) 近畿ブロック（ブロック長：團野一美氏）
正会員数 84名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月27日(日)	研修会	実践報告 会近畿ブロックの訪問看護認定看護師の活動状況を知り、今後の自地域での活動に活かす	38名
	会議	近畿ブロック実践報告会についての意見や感想を聞き、今後の研修に活かす	20名
12月21日(木)	会議	今年度の反省と次年度の活動計画について	8名

(2) 活動を通して

昨年好評であった実践報告会を今年度も企画し開催した。実践報告会の目的は、近畿ブロック内の府県代表者である訪問看護認定看護師が実践している活動を発表し、参加者が今後の活動をする上での参考にし、活動へのエネルギーを得てもらうこと、ディスカッションを通して繋がりを得ることとした。

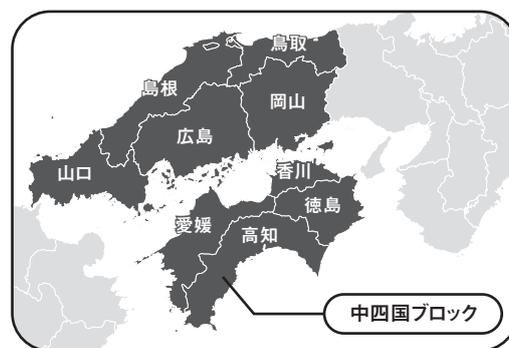
京都府の鎌田智広様より「過去から学ぶ訪問看護の経営」、滋賀県の新山和枝様より「訪問看護ステーションにおける出向事業の関わりと成果～滋賀県の取り組み～」、兵庫県豊倉陸美様より「急性期病院の入退院支援・外来の現状～在宅ケア認定看護師の視点からみた現状の課題～」、大阪府の田端支普様より「訪問看護ステーションでの特定行為の活用」、奈良県の島勝江様より「多職種で行う新型コロナウイルス対策への取り組み～経営管理の視点から～」、和歌山県の矢出装子様より「和歌山における訪問看護の名材育成につなげる活動」について、10～15分ご発表をいただいた。参加者でディスカッションを行った後、佛教大学の清水奈穂美教授から講評をいただいた。

交流会後のアンケート（回答率89%）では、実践報告会について、大変満足できた（79.4%）、満足できた（20.6%）と回答を得た。実践報告会に参加して今後の活動の参考になった（100%）との回答を得た、「みなさんの実践報告にとっても刺激をもらいました」「内容が多様で勉強になりました」「地域差はあるかもしれないが、訪問看護認定看護師としてどのような活動ができるか知ることができた」「実践報告は、今後の参考になるだけでなく、エネルギーも得られる会でした」「皆さんの発表が多方面からあり、重ならなかったのも新鮮さがありました」「それぞれ小さなことをコツコツと積み上げておられることこそ訪問看護認定看護師、在宅認定看護師だと思います」「看看連携をする上で相手の立場を知ることが出来て、良い学びができました。」など多くのご意見をいただき、参加者の今後の活動の参考になる内容であった。実践報告会の目的が達成でき、効果を得たと考えている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



8) 中四国ブロック (ブロック長：尾崎美智氏)
正会員数 25 名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月9日(水)	交流会	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介と活動報告、地域の状況について共有 今後のブロック活動について意見交換 	11名
9月9日(土)	研修会	「臨床推論を活用した人材育成」	10名
9月16日(土)	研修会	地域向け研修会 「訪問看護認定看護師と一緒に学ぼう！臨床推論を用いた判断力トレーニング 第1回」 地域の新任訪問看護師を対象とした研修会	22名
10月14日(土)	研修会	地域向け研修会 「訪問看護認定看護師と一緒に学ぼう！臨床推論を用いた判断力トレーニング 第2回」	20名

(2) 活動を通して

中四国ブロックでは、昨年度に引き続き「人材育成」をテーマとして活動した。

新しく訪問看護を始めた人達は、一人で訪問し、病気のことだけでなく家で起こる様々な状況を考えて判断しなければならず、迷ったり悩んだりすることが多い。訪問看護認定看護師として、地域で困っている訪問看護師を支援したいと考え、昨年度から地域の新任訪問看護師を対象に「判断力トレーニング」の研修会を開催している。少人数で自由に意見交換ができる場となり、「訪問看護をやりたい」と思って頑張っている人達が、「訪問看護って難しいけど面白い」と思ってもらえる研修会となった。

中四国ブロックの会員はファシリテーターとして参加し、講師と共に新任訪問看護師を支援した。地域の訪問看護師と共に学んだことは、改めて自分達の立ち位置を客観視する貴重な機会になった。訪問看護認定看護師として地域の人々にキラキラと輝く姿を見せられるように自己研鑽を続けなければいけないと感じた。そのためにも、このブロック活動が持続可能なものであり、誰も取りこぼさず支援できる体制作りを考えていきたいと思う。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



9) 九州ブロック (ブロック長: 安部美保氏)
正会員数 18名



(1) 年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 5月19日(金)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 今後ブロック活動について意見交換 役員輩出のルール決め・おしゃべり会開催決定 	5名
8月27日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 2024年1月開催 研修会の企画運営会議 	4名
9月6日(水)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会・交流会の企画詳細の検討 	5名
9月13日(水)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の九州ブロックの年間計画を策定 	5名
9月25日(月)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会のテーマの決定 交流会の詳細を検討 研修会・交流会準備の担当者決定 	5名
11月12日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研修会 交流会の広報についての検討 参加者の目標人数決定 	5名
2024年 1月14日(日)	会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会・交流会のリハーサルを実施 	4名
1月27日(土)	研修会 ・交流会	<p>メインテーマ: 地域包括ケアシステムの中でのこれからの訪問看護の役割を考える ～仲間を増やし、最期まで豊かな暮らしを支える～ 講師: 聖路加国際大学 山田雅子先生 交流会: 訪問看護認定看護師実践報告会 ①訪問看護認定看護師としての役割の大切さに気づくまで 医療法名ひらまつ病院 訪問看護ステーション 管理者 堀口奈緒子 ②訪問看護に新卒者を採用しての経過報告 訪問看護ステーション青空 所長 下地節子</p>	14名
1月27日(土)	会議	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研修会・交流会反省会 	5名

(2) 活動を通して

九州ブロックは、ここ数年、会員数の減少・コロナ禍の影響もあってか、活動が衰退気味であった。そんな中、今年度は初回のブロック会議で、再び九州ブロック活動に活気をもたらすためにはどうしたらよいか話し合いを行った。そこで、会員が、何でも気軽に話し合える・相談しあえる場をつくらうという話になった。方法はリモートで、毎月、定期的で開催するという事に決まった。名称は「おしゃべり会」。実際にふたを開けてみると、ほぼ参加者は、ブロック役員ですが、その中に、ちらほらと新しい会員の方が参加してくれるようになった。

今年度のブロック研修会・交流会は、例年より参加者が増えて全国から会員・非会員を含めて35名の方が参加して頂くことができた。終了後のアンケート結果からも大変内容が良かったといった好評をいただくことができた。研修会に山田雅子先生をお呼びしたいと言われた方は、おしゃべり会に新しく入ってきていただいた会員さんである。また、実践報告で新卒新名を3名採用した話をしていただいた沖縄県の下地さんも、おしゃべり会でお話をお聞きして、是非、実践報告会でも話しをしてほしいとのことで講師になっていただいたという経緯がある。そういった意味でも、今年度から始めた「おしゃべり会」は大変意味のあるものだったと思っている。

※活動の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



2. 総会及び同時開催研修会、交流会

1) 総会及び同時開催研修会

(1) 開催実績

日 時：2023年6月10日（土）10：00～12：30

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：総会）出席 53 名・委任状 168 名・研修会）71 名

プログラム：

時間	プログラム
9：50～	開会・オリエンテーション
10：00	『第10期定時総会』 開会の挨拶・議長選任 大橋代表 総会 議案説明 廣川副代表 議案採決 議長 大橋代表
10：20	『同時開催研修会』 情報提供：「認定更新申請の情報提供」 北関東ブロック 田中照美氏
10：40	休憩
10：50	講義：「法律・制度を活用したコミュニケーション向上術」 加藤看護師社労士事務所 代表 加藤明子氏
12：20	協議会からのお知らせ 閉会のあいさつ 野崎監事
12：30	閉会



(2) 活動を通して

本年度もオンラインを利用した Zoom 開催となった。

総会では委任状を含む 221 名が参加、同時開催の研修会では 71 名の参加があった。研修会は①訪問看護認定看護師更新申請のための情報提供②訪問看護ステーションの『法律・制度を活用したコミュニケーション向上術』をテーマに講演を開催。参加者のアンケートから高評価を得ることができた。

講師のスケジュールの都合で午前開催となり時間の制約が大きかったが、事前の話し合いでタイムスケジュールを調整し時間内で開催することができた。



2) 法人第 10 期記念交流会 2023

(1) 開催実績

日 時：2023 年 12 月 9 日（土）13：00～16:00

開催方法：ハイブリッド開催（会場 AP 東京八重洲ルーム A /Zoom ミーティング）

参加人数：58 名

プログラム：

時間	プログラム
13：00	オリエンテーション・開会の挨拶 大橋代表
13：03	祝辞動画 日本看護協会高橋会長
13：07	応援メッセージ
13：12	記念講演 徳島大学 山下留美子氏
13：55	スライドショー「私たちの歩み」
14：50	休憩
15：00	応援メッセージ
15：02	ワークショップ（交流会）
15：48	スライドショー「仲間からのエール」
15：58	閉会の挨拶 野崎監事
16：00	閉会

(2) 活動を通して

会場と Zoom のハイブリッド開催となった。

会場では 22 名、Zoom36 名で計 58 名の参加があった。今年度は 10 期の記念交流会であった為、記念交流会の役員が中心となって企画、準備し、総務は補助的な役目を担った。記念公演の企画の他、祝辞動画・応援メッセージの募集・スライドショーの作成等事前準備が必要な内容が多く、役員が理事が分担して準備。当日実施の記念講演・レジェンドトーク・ワークショップも合わせて、盛りだくさんで楽しい内容の交流会となり、アンケートも高評価を得ることができた。

3. 訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

活動名：訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

メンバー：8名

豊田好美氏（理事）・田川章江氏（理事）・野崎加世子氏（監事）

佐伯聡子氏（関東ブロック）・篠原かおる氏（関東ブロック）・飯島美佳氏（南関東ブロック）

菊池悦子氏（東海北陸ブロック）・向山時恵氏（関東ブロック）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 8月30日（水）	第1回運営会議	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶と自己紹介 事業の概要説明 （当協議会で行うに至った経緯・今年度のテーマ・今後のながれ・研修内容について） 検討事項（役割分担・座談会のグループ分け） 	8名
10月30日（月）	第2回運営会議	日程、進行確認、Zoom操作練習、座談会についての進行確認	8名
11月18日（土）	ミニ講座&座談会実施	(2) 参照	22名
11月18日（土）	第3回運営会議	<ul style="list-style-type: none"> 研修会後にアンケート結果の確認 メンバー間の意見交換 	8名

（2）ミニ講座「安定したステーションの運営を目指して」&座談会の開催

日時：2023年11月18日（土）9：00～12：00

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：14名

プログラム：

時間	プログラム
9：00～	開会・オリエンテーション
9：10	ミニ講座「安定したステーションの運営を目指して」 ①スタッフ定着育成術 飯島美佳氏 ②地域に求められる訪問看護ステーションになろう 篠原かおる氏
10：10	休憩
10：20	座談会
11：20	グループ発表
11：40	本日のまとめ
11：50	アンケート説明
12：00	閉会

(3) 活動を通して

閉鎖、休止に追い込まれるステーションや孤独になりやすい管理者に向け、明日頑張ろうと思っていただける相談の場として認識していただくことを目標に、2人のメンバーにミニ講座をしていただきその中で経験をもとにお話しいただいた。その後4～5人でのテーマごとのグループでファシリテーターを含めた座談会を実施し、各グループでテーマを超えた内容で和気あいあいと話しができ「同じ悩みを抱えている管理者が多くいるとわかった」、「スタッフと一緒に考えていく」、「前に進めそうと思えた」などの意見あり参加者から笑顔がみられた。集客に日程が遅かったことや広報の仕方が悪く目標の参加人数にはいかなかったことが反省点だが、参加者からのアンケートからも満足度は高く私たちに相談者としての役割は今後も望まれていると感じた。また相談には地域性があるため様々な地域からのメンバーが必要という意見もあった。研修会だけではなくメール相談やアドバイザー派遣など今後検討していくことも必要と考える。

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

訪問看護認定看護師による地域貢献活動
素敵な訪問看護ステーションになるためのノウハウ教えます！

ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」

講師1: 訪問看護認定看護師 飯島 美佳
「スタッフ定着育成術 ～落ち着くまで4年かかりました～」

講師2: 訪問看護認定看護師 篠原 かおる
「地域に求められる訪問看護ステーションになろう！」

座談会
※テーマ別に行います

- ① 経営・運営
- ② 人材確保・育成
- ③ 多機能化・大規模化
- ④ 小児、精神訪問看護
- ⑤ ハラスメント

訪問看護管理者の「悩み」を、一緒に考えませんか？

訪問看護事業所の安定した運営を行うために、「人材の確保・育成」、「利用者の確保」、「多職種との連携」など、管理者には多くのことを求められています。
開設したばかり、管理者の経験が浅い、相談できる場がないなどのことから、
管理者一人で悩んでいませんか？
明日からの訪問看護が楽しく実践・管理できるよう、
訪問看護認定看護師と一緒に語り考えてみましょう！

2023年11月18日(土) 9:00～12:00

開催方法 : Web 開催
参加人数 : 30名
参加費 : 2,000円
応募要件 : 訪問看護管理者または次期管理者
応募方法 : QRコードからお申し込みください



*お申込期限 11月7日(火)
*参加が決まった方には決定通知をメールでお知らせ致します

お問い合わせ : 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協会
TEL : 03-5778-7008 MAIL: kyogikai@jvnf.or.jp
担当認定看護師: 野崎加代子 豊田好美 田川章江



ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」&座談会 アンケートまとめ

作成：令和5年度 ミニ講座&座談会運営委員

開催日：2023年11月18日（土）

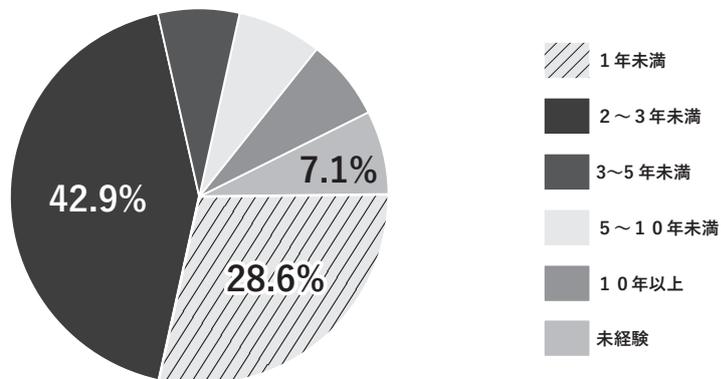
参加人数：14名

回答件数：14件 / 回答率 100%

1. ご回答頂く方についてお伺いします

管理者経験年数は、次のうちどれにあたりますか？

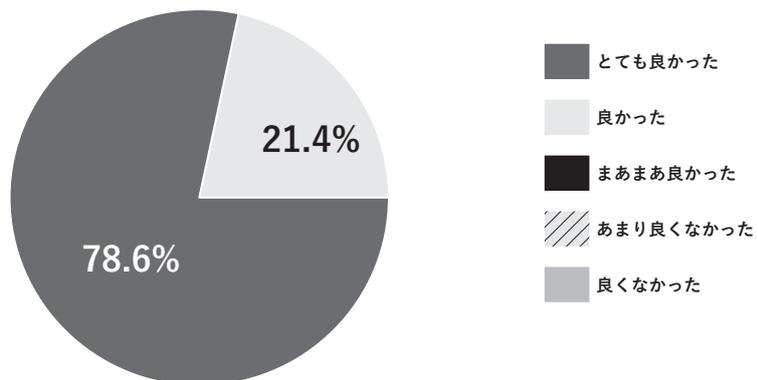
14件の回答



2. ミニ講座「安定したステーションの運営をめざして」についてお伺いします

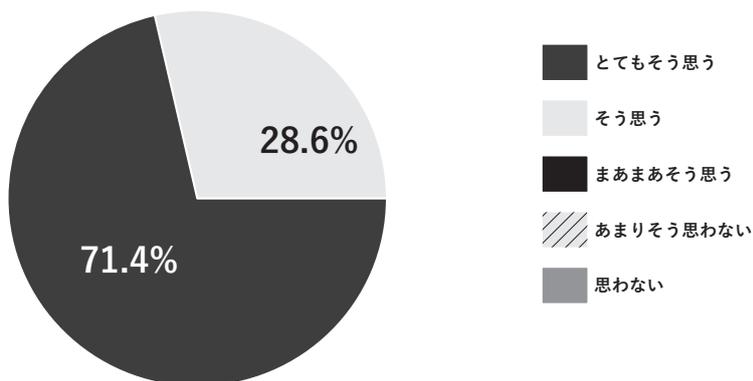
1) 講義1「スタッフ定着育成術～落ち着くまで4年かかりました～」はいかがでしたか？

14件の回答



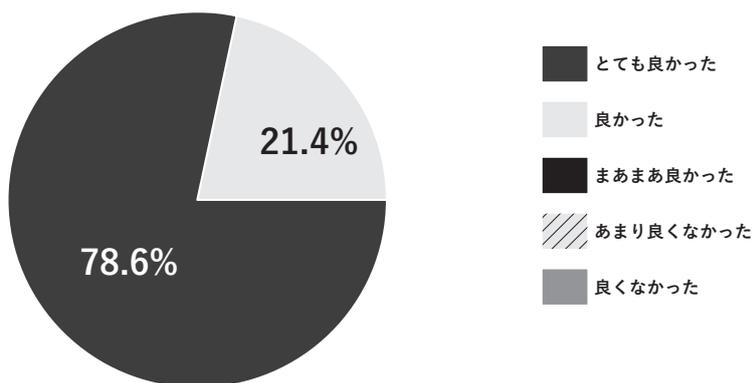
2) 講義1の内容は、今後の活動に活かされますか？

14件の回答



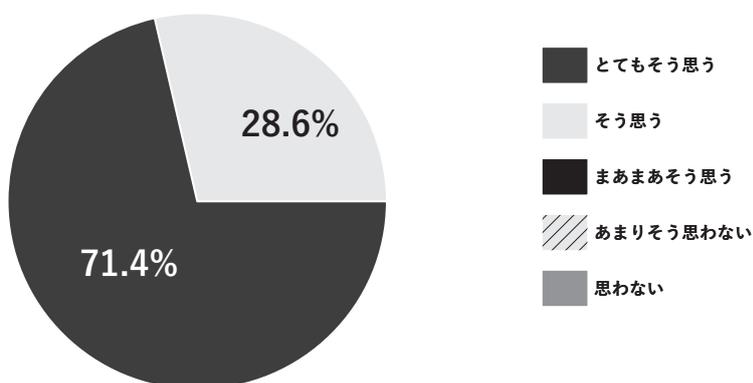
3) 講義2「地域に求められる訪問看護ステーションになろう！」はいかがでしたか？

14件の回答



4) 講義2の内容は、今後の活動に活かされますか？

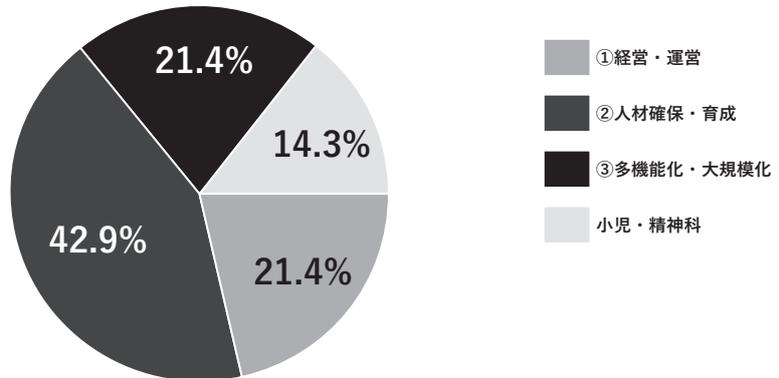
14件の回答



3. 座談会についてお伺いします

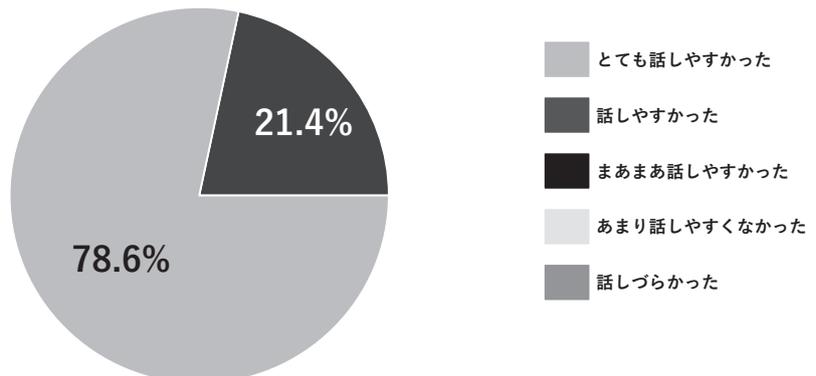
1) 参加したテーマは、次のうちどれですか？

14件の回答



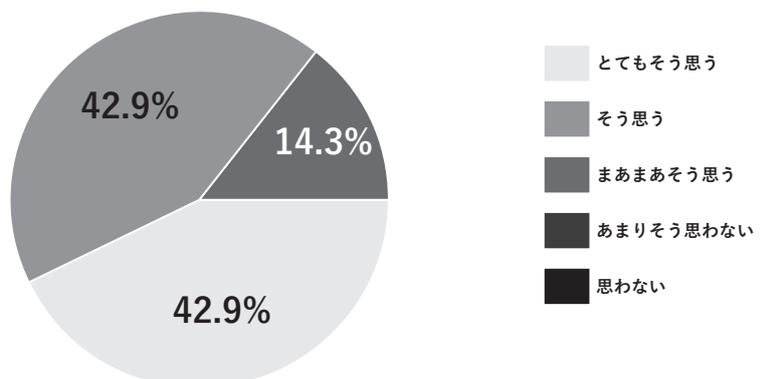
2) 座談会では話しやすかったですか？

14件の回答



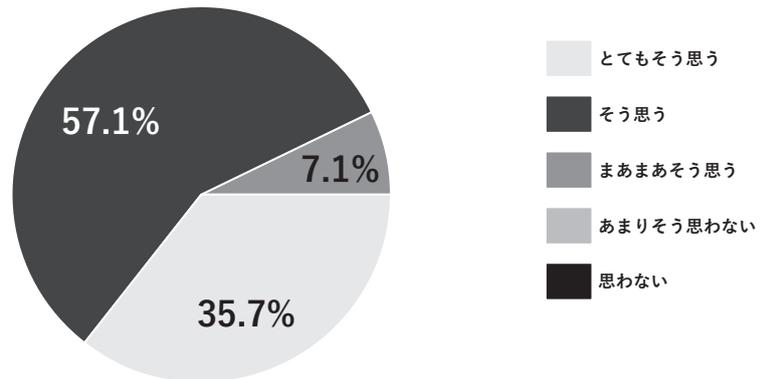
3) 問題や課題を整理することができましたか？

14件の回答



4) 問題や課題を解決する方向性が見えましたか？

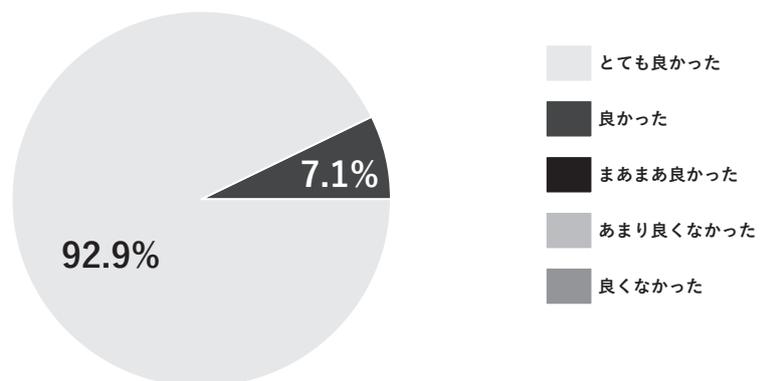
14件の回答



4. 今回の企画全般についてお伺いします

1) 今回のミニ講座&座談会に参加してどうでしたか？

14件の回答



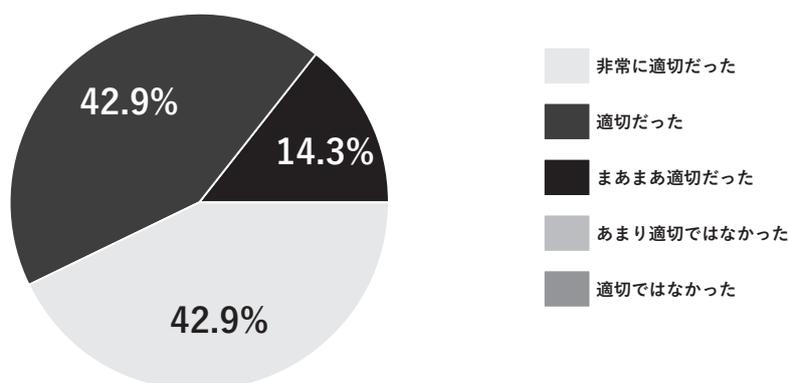
2) 今回参加してのご感想やご意見がございましたら、ぜひお聞かせください（11件の回答）

- 普段関わりのない地域の方々との話なので、気兼ねする事なく話のできたのでよかった。
- 答えが出なかったこと、自分では思いつかなかったことが引き出してもらえたので有り難い時間になりました。
- 管理者という立場からのお話を聞くことができ、今後、自分がどういった力をつけていくといいかを知ることができました。ありがとうございました。
- 仲間がたくさんいる事がわかりました。
- プレイングマネージャーになっており、管理者としてうまく仕事できていないことを日々しんどく思っていました。この研修を受けて少し冷静に考えるきっかけが持てたと思います。

- 具体的な質問がしやすく、お返事もいただけたのでとても満足しました。参加してる方の話も聞けてとても参考になりました。
- 参加するまで、どんな会場なのか未知で、不安でしたが、とても有益な情報を学び、座談会も、小規模でしっかりお話を伺うことができ、本当に良かったです。自分を振り返る機会になるので、年1回参加したいと思いました。
- 訪問看護ステーション管理者に求められる役割が多岐にわたり、悩みも多い。管理者業務でやりがいを見いだせるのか？正直わかりませんが、看護が好きなスタッフとともに頑張っていきたいと感じました。ありがとうございました。
- 野崎さんのお話で自分を大切に、スタッフに任せることも大事と話され泣けそうでした。それだけ自分が思い詰めているんだと認識したのと野崎さんの言葉で救われた感じがしました。
- 貴重な講義を聞かせていただき、グループワークでは管理者の方と悩みを共有できました。頭の中でまとまりなく、問題点も明確になっていないまま日々の業務に追われていましたが、ここで改めて理念の明確化が必要な事、スタッフの人材育成・サポート、新規の獲得、レセプト・制度についての学習など、様々な課題がみえてきました。今日の学びを現場の管理に活かしていけるよう、日々積み重ねていきます。焦らず出来ることから・・・頑張っていきます。ありがとうございました！
- 自分だけが悩んでいたのではないことに気づき、具体策を教えていただけたので、励みになった。

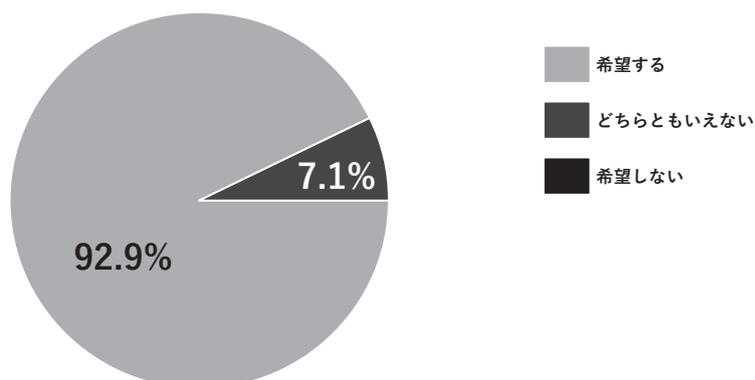
3) 参加費は適切でしたか？

14件の回答



4) このようなイベントの開催を今後も希望しますか？

14件の回答



5) 訪問看護認定看護師に期待することなどお聞かせください（8件の回答）

- 普段、認定看護師と関わる機会がないので、今回のような場で相談や助言をいただける研修が今後もあるとありがたいです。
- 色々な情報をもraitたい。悩んだ時聴いて欲しい。
- メールで相談窓口をとおっしゃっていましたが、是非、そのような機会を作っていただきたいと思います。
- 地元の認定看護師さんもいつもよく活動されていて、いつでも気安く相談にのってくださるし、ありがたい存在です。現状でも十分ですが、ご多忙とは存じますが、有益な情報を定期的に発信してくださる、とかあると、ありがたいです。
- 私は訪問看護の経験が少ないので、困難事例などケース検討も学びたいです。
- 相談に乗ってください！
- 日々の業務で悩み事を相談できるメール相談はぜひ活用させていただきたいです。
- 状態に応じた的確な対応、処置等。

4. 訪問看護ステーションのBCP作成支援

活動名：どうする！うちのBCP作成 相談支援

メンバー：戸崎亜紀子氏（理事）・廣川直美氏（副代表）

山田富恵氏（関東ブロック）・稲葉典子氏（近畿ブロック）・碓田弓氏（東海北陸ブロック）

杉山清美氏（東海北陸ブロック）・邊見知恵子氏（中四国ブロック）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 4月25日（火）	第1回運営会議	● 事業の趣旨・概要、年間スケジュール、支援内容	7名
5月23日（火）	第2回運営会議	● 稲葉委員・杉山委員の活動報告、支援内容、方法	7名
6月27日（火）	第3回運営会議	● 各自ヒアリングをもとに作成支援の具体策	7名
7月25日（火）	第4回運営会議	● 要項、チラシ案、募集について	4名
8月22日（火）	第5回運営会議	● 参加事業所のヒアリング項目、進行表、チラシ修正	7名
9月26日（火）	第6回運営会議	● 問合せ / 申し込み状況から今後の対応、〆切および料金	7名
10月24日（火）	第7回運営会議	● 申込事業所の事前ヒアリング、当日までの流れ確認	7名
11月27日（月）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日のスケジュール、進行について	7名
12月14日（木）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日スケジュールの最終チェック、今回の研修目標について	7名
2024年 1月30日（火）	事前打合せ	● 事前提出BCP分析、当日スケジュールの最終チェック、シミュレーション研修進め方、最終到達点について	7名



(2) 研修開催

○第1回目

日 時：2023年11月28日(火) 18:30-19:40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所4名

時間	プログラム	担当
18:30	事業の目的と委員紹介、参加事業所自己紹介、スケジュールの説明	戸崎 廣川
18:45	「BCPとは」を説明 チャットの「本日資料パワポデータ」「オールハザード BCPVer.2 データ」 添付し、各事業所でダウンロード実施	稲葉
19:00	ブレイクアウトルームに分かれて、各委員で担当した事業所の状況をヒアリングし、テンプレートの確定と進行計画立案	委員2名で 1事業所の サポート
19:20	全体で各事業所の進捗状況を確認しながら、方向性を確認。作成ポイントを話し合い	委員全員
19:25	次回までの宿題確認と2回目までの質疑のメール等連絡方法の確認、クロージング	戸崎・廣川
19:30	閉会	

○第2回目

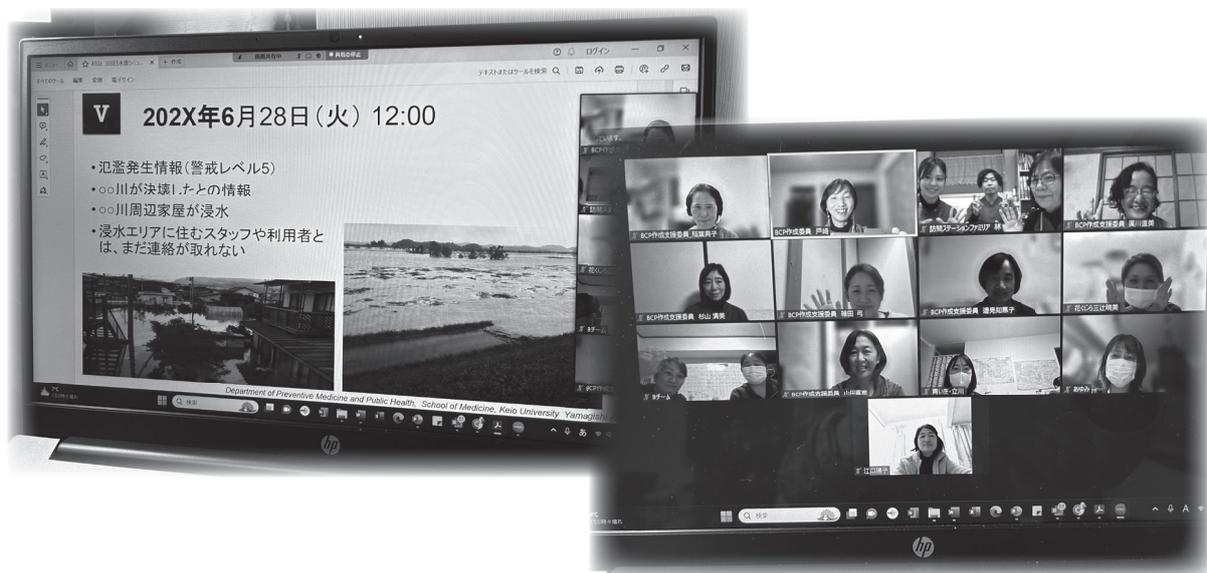
日 時：2023年12月17日(日) 9:30～12:40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所4名

時間	プログラム	担当
9:30	開会 本日のスケジュール確認、宿題の共有(3事業所の進捗を共有していただくことで、BCPの知見を増やすため)	戸崎・廣川
9:40	ステップ1・2のおさらい⇒ステップ2「リスクシナリオ」の作成方法の説明⇒リスク値の算出、リスク対応計画書作成の説明、リスク値9点以上について対応計画書を作成する	稲葉
9:55	<ブレイクアウトルームにわかれて> リスクシナリオのうち1つのシナリオを作成、影響度と脆弱性のポイントをつけ、そのシナリオに対するリスク対応計画を作成する。(委員2名で1事業所をサポート)	各委員
10:15	全体で3事業所分をどう作成されたかを担当委員より発表	全員で
10:25	小休憩	
10:30	ステップ3 災害初期対応マニュアルを説明 ここはブレイクアウトルームに分かれず、それぞれですすでにあるマニュアル等をあてはめるか、テンプレートを使うかを決める相談を受けながらすすめ、どの部分を改変したり埋めたりするかアドバイスをする。ハザードマップ、災害関連情報の取り方、ツール、アプリケーションの情報を共有する。例：内水氾濫のマップなど、ふだんなじみがなかった情報を共有する。国土交通省、地域自治体のハザードマップなど	稲葉

10:50	ステップ4 通常業務の洗い出し⇒優先度を決め⇒業務影響分析に落とし込むの3段階を説明	稲葉
11:00	<ブレイクアウトルームにわかれて> 通常業務の洗い出しはすべて行う⇒優先度判定もすべて⇒業務影響分析は、一番上の「訪問」に関する項目について、ボトルネックと代替手段をなぞらえ、改変。委員は、相談を受けながらアドバイス	各委員
11:35	ブレイクアウトルームでの内容を共有	全体で
11:41	休憩	
11:51	ステップ5 ステージングの決定を説明、ステージ2.3.4.1の順番で説明し、ステージ2についての作業方法を説明 ステップ6を説明サマリー作り	稲葉
12:00	<ブレイクアウトルームにわかれる> ステップ5のステージ2を作成。相談を受けながらアドバイスをしていく 次回までに完成させるために、残っている箇所を委員より確認し、何をしたら良いのかを明らかにする	各委員
12:26	ブレイクアウトルームでの話題を共有 次回までに完成させるために、残っている箇所を委員より確認し、何をしたら良いのかを明らかにする	全体で
12:35	閉会 次回の日時調整、改めて調整し日程を決める	戸崎



○第3回目

日 時：2024年1月31日（水）9：30～12：40

開催方法：Zoom ミーティング

参加人数：3事業所9名

時間	プログラム	担当
17：30	オープニング	戸崎
	今日のスケジュール確認・オリエンテーション	廣川
17：35	ブレイクアウトルームに分かれて、各事業所のBCPの完成版を委員が確認し、残っている課題を明確化する	各担当委員
17：50	各委員より、それぞれのグループのBCPの良かったところを発表	全員で
18：00	・まちの減災ナースの取り組みを活かした研修 ①洪水シミュレーション、グループディスカッション、各事業所 感想 ②トイレの課題検討、各事業所 感想	杉山
19：00	各参加事業所より感想・課題発表、担当委員よりコメント	戸崎
19：25	閉会	廣川

（3）活動を通して

当協議会は今までも地域貢献活動に取り組んできたが、新たに収益性も踏まえBCP作成支援を行う事にした。それは単に介護事業所にBCP作成が義務付けられたからというわけではなく、新興感染症パンデミックの経験や繰り返される自然災害の脅威から、認定看護師として単なる講義ではなく伴走型として貢献できるのではないかという思いからだった。

運営委員はBCP作成支援研修の経験者と、災害支援ナースとして活動経験者、被災経験者を含み、会議を重ね開催に臨んだ。

終了後の感想やアンケートから、「個別指導では細かい内容まで丁寧に考えてくださり、自施設に落とし込んで内容を一緒に検討して下さったことで、具体化していくことができました。」「講師の方々からのあたたかい言葉があり、頑張れました。」参加料金についても「適切」「安い」と好評を得ることができた。（詳細は別記）

今回の研修中、能登半島地震が発生した。備えの大切さを強烈に実感する出来事だった。今年度の事業経験を活かし、内容をブラッシュアップし提供する意味が大きいと感じることができた。

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

(一社) 日本訪問看護認定看護師協議会 2023年度 地域貢献活動

「どうする!うちのBCP」 相談支援

対象エリア
全国
3事業所限定

いよいよ、事業継続に向けたBCPの策定義務化が今年度末に迫ってまいりました。
 今回当協議会では**BCP作成中でお困りのことや、
 研修や訓練をどのように事業所内で実践していくのか?**等について
3回シリーズで相談・支援をさせていただきます。
 この度、対応エリアを全国に拡大して再告知します!

講師

(一社)日本訪問看護認定看護師協議会
BCP作成支援委員

私たちは、訪問看護や在宅ケアの分野で専門性を発揮しながら、認定看護師3つの役割「実践・指導・相談」を果たし、看護の質の向上に努めています。
 今回は現場で積極的にBCP作成に取り組んでいる会員7名で委員会を構成し、地域貢献活動として企画いたしました。
 認定看護師として培ってきた知識をもとに、地域や現場に即したBCPの作成、出来上がったBCPをいかにスタッフに浸透させるかなど、委員7名の知恵を持ち寄って相談・支援プランを作成しました。
 頑張っ作成するBCPが「活きたBCP」となるよう、ぜひ、皆様と共有したいと思ひます。

募集要項

対象エリア 全国

開催時期 1回目)2023年11月28日
 2回目)2023年12月17日
 3回目)2024年1月下旬
※詳細は裏面ご参照ください

参加費用 15,000円(全3回分)

開催場所 全日程オンライン

定員 3事業所限定

お申込み

右のQRコードより
お申込みください。
10月23日(月)締切り



※全国3事業所限定!
お申込みはお早めに!

問い合わせ先
 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会
 BCP作成支援運営委員会
 担当理事: 公財)星総合病院 在宅事業部 戸崎亜紀子
 TEL:024-983-5246 受付時間: (平日)9:00~17:00

(一社) 日本訪問看護認定看護師協議会 2023年度 地域貢献活動

「どうする!うちのBCP」 相談支援

全3回の相談・支援プラン

相談支援
決定後

「作成状況の把握」
BCPを事前に拝見します。
途中で構いません。

STEP1

11月28日(火)
18:30~19:30

「現状のヒアリングと困りごとの相談」

事前に拝見したBCPからアドバイスします。
ヒアリングシートを用いてサポートのポイントを明らかにします。
今後の流れについて説明します。

STEP2

12月17日(日)
9:30~12:30

「その後の進捗確認と修正支援」

進捗を確認し、リスク対応計画書、業務影響分析、業務の洗い出し、業務影響分析、戦略作成まで、一緒に確認していきます。

STEP3

2024年1月下旬頃
夕方2時間

「作成内容の確認とスタッフの皆様への研修実施支援」

前半:残っている課題を確認し、仕上げます。
後半:町の減災ナースの取組を活かした研修を行います。
現場のスタッフも参加可能です。



一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会

<https://jvncna.net/>

「どうする！うちのBCP 作成支援」 終了時アンケートまとめ

作成：令和5年度 BCP 作成支援委員会

開催日：第1回目 2023年11月28日（火）

第2回目 2023年12月17日（日）

第3回目 2024年1月31日（水）

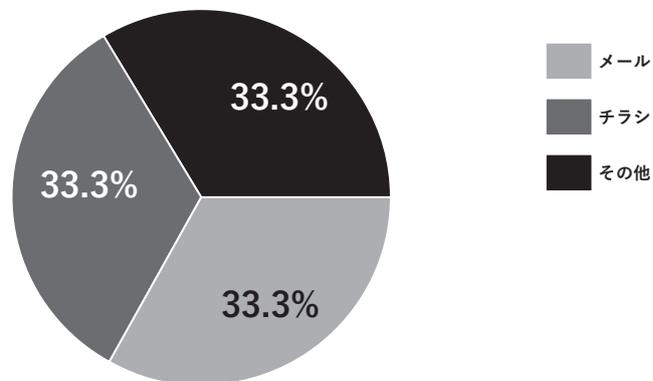
参加人数：3事業所

回答件数：3件 / 回答率100%

※質問項目1.2.は参加者事業所名、メールアドレスの回答のため削除

3. 今回の事業は何で知りましたか？

3件の回答

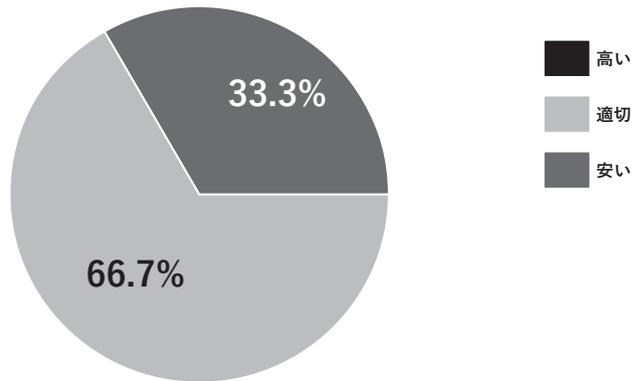


4. BCP 作成支援へご参加いただいた動機を教えてください

- BCP について理解し有用性のあるものにしたかったため
- BCP まったくすすまなかったため
- 作成方法に見当がつかなかったため

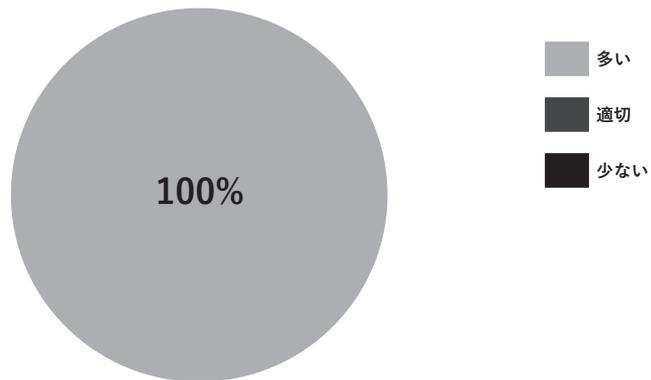
5. 参加料金についてお聞かせください。

3件の回答



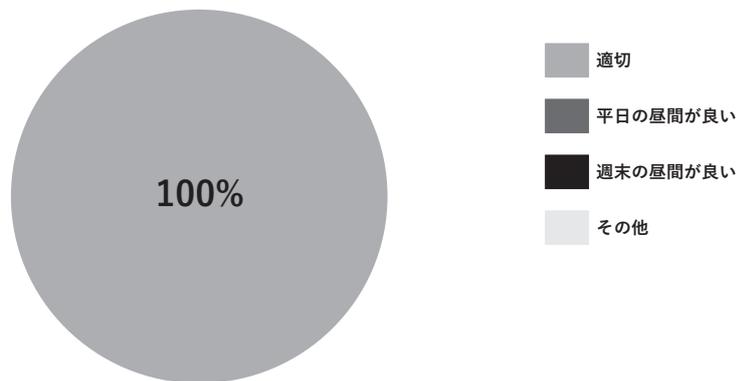
6. 3回の支援回数について？

3件の回答



7. 開催時間はいかがでしたか？

3件の回答

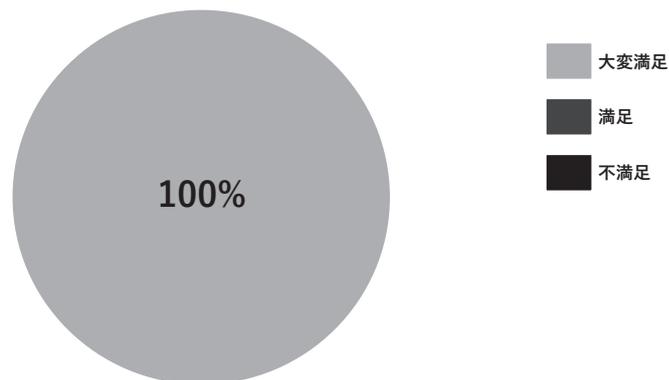


8. 支援内容についてご意見をお聞かせください

- 時間帯や内容に配慮していただき参加しやすく、個別で指導が受けられたのでよかったです
- 考える支援をしてくださったのでとてもよかったです
- データベースの内容がとても素晴らしく、また個別に具体的なアドバイスをいただけてとてもわかりやすかった

9. 全体を通した満足度はいかがですか？

3件の回答



10. その他、上記の質問以外でご感想など忌憚ないご意見をおきかせください。

- 個別指導では細かい内容まで丁寧に考えてくださり、自施設に落とし込んで内容を一緒に検討してくださったことで、具体化していくことができました。また、シミュレーションで他施設の方と意見交換しながら指導をいただき、実際の発動の流れなどイメージでき大変勉強になりました。ありがとうございました
- とてもよい支援いただけたと思っています。自身でもやった感があります。早速、事業所内で、シミュレーション研修しました。皆で考えられました。ありがとうございました
- 何から手をつけてよいかわからなかったBPCでしたが、こちらの研修に参加させていただけたおかげでスムーズに作成できました。講師の方々からのあたたかい言葉があり、頑張れました。本当に感謝しております。ありがとうございました

5. 報酬改定に向けた活動

活動名：報酬改定に向けた活動

メンバー：1名 平野 智子氏（理事）

（1）年間活動実績

開催日	活動項目	概要	参加数
2023年 6月14日（水）	要望書提出	・『診療報酬改定要望書』を厚生労働省保険局保険局長 伊原和人氏へ提出 ・『介護報酬改定要望書』を厚生労働省老健局老健局長 大西証史氏へ提出	—

（2）要望書の重点事項

1. 依存度の高い利用者（ターミナル期・神経難病・難治性の高い創状態にある利用者等
／診療報酬にはこれに 在宅人工呼吸器装着者を追加）への評価の見直し
2. 退院支援の評価
3. 地域包括ケアシステムにおける連携・相談への評価
4. 訪問看護（在宅ケア）訪問看護認定看護師（特定行為修了者）、
在宅ケア専門看護師のいる事業所への評価

※要望書の詳細は、ホームページで公開しております。QRコードを読み取り、ぜひご覧ください



第3章 事業の評価

- 1 ブロック活動
- 2 総会及び同時開催研修会、法人第10期記念交流会 2023
- 3 訪問看護事業所の運営及び多機能化へのコンサルテーション活動
- 4 訪問看護ステーションのBCP作成支援
- 5 報酬改定に向けた活動

1. ブロック活動

ブロック活動は、認定看護師の資質向上や培った能力で地域に貢献するための活動などを企画・運営すること、また会員同士の情報交換のための交流会等を開催することを目指し取り組んでいる。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、活動も集合型、ハイブリッド型、オンライン型と各ブロックのテーマや対象者に合わせて実施されている。Webを使った研修では、ブロックの垣根を超え全国の会員が参加する機会も多く、対面での交流も増えてきている。

活動内容は、各ブロックの地域や会員のニーズに合わせて、研修会や交流会を企画されていた。どのブロックも研修会・交流会参加者の満足度は高く、訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師としての活動に活かされていると評価できる。特に、会員同士または地域のネットワークを広げる一助となっている。しかし、ブロックによっては、参加者の人数が少ない、会員数の伸び悩み等の課題もあり、魅力あるブロック活動の広報を検討していきたい。

ブロック活動の運営については、ブロック長会議を2回開催し、様々な情報交換と提案があり、スムーズに活動ができたと思われる。しかし、ブロック長としての負担の感じ方に差異はあるが、果たす役割は大きいと感じる。ブロック運営の役割分担を考え、協議会として定め承認していくことを検討し、ブロック活動実施ガイドライン（活動申請～報告までの流れや書類）の見直しを行う時期に来ていると思われる。負担感なく楽しく有意義な、みんなで学びあえる活動ができるように支援していきたい。

担当役員	理事	田村 美樹枝
	理事	川崎 幸栄子

2. 総会及び同時開催研修会、交流会

6/10の総会及び同時開催研修会では、本年度もZoomを利用したオンライン開催となった。

総会では委任状を含む221名が参加、同時開催の研修会では71名の参加があった。研修会では例年通り、①訪問看護認定看護師更新申請のための情報提供②訪問看護ステーションの『法律・制度を活用したコミュニケーション向上術』をテーマに講演を開催した。講演会では、訪問看護ステーション運営における就業規則や労働契約についての内容、及び作成時の注意点などを学ぶ機会となった。法律制度をきちんと理解し活用することで、上手くスタッフとコミュニケーションをとりながらお互いの安全と健康を守っていく必要があると再認識した。

12/9の交流会では、法人第10期を記念して、『感謝と魅力を語ろう』をテーマに記念講演会や10年の振り返りと未来に向けての語り合いを目的にハイブリッド開催とした。全体で58名の参加があり、会場は楽しい雰囲気に包まれた。記念講演会では訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師とは、これからの医療を支える重要なキーパーソンであり、自施設に限らない多様な地域での活躍を期待されていることを改めて実感した。また10年の振り返りの中では、関係諸機関からのお祝いメッセージの紹介、これまでの協議会の歩みや仲間の活動紹介のスライドショー、レジェンドトークなどで会場も盛り上がり、また涙する場面も見受けられた。両日共に参加者から高評価が得られており、訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師としての自己研鑽、及び我々の未来に向けての可能性を再認識する内容であったと考える。

担当役員	理事	山崎 佳子
	理事	松下 容子

3. 訪問看護ステーションの運営改善相談・多機能化サポート

認定看護師の役割には「実践」「指導」「相談」があり、オンラインでの「訪問看護認定看護師によるコンサルテーション活動」を実施した。

近年、訪問看護事業所が多数開設されているが、事業所経営や運営、制度、人材育成などの相談が多数寄せられることが増え、開設後まもなく閉鎖や休止してしまう事業所が多く見受けられる。昨年より全国の訪問看護ステーションの管理者を対象に私たち訪問看護認定看護師・在宅ケア認定看護師の力を役立てるため、ミニ講座&座談会を企画し実施した。今年度も昨年度のアンケート結果での継続希望を踏まえ開催した。

会員の皆様へメンバー募集をさせていただき参加希望の方より5名選出し活動した。オンライン研修にも慣れ準備から当日運営までZoomを利用したが、スムーズに実施できた。昨年より会費を値上げしたことや公報の期間や方法に課題が残り参加者は予定人数には達しなかったが、アンケート結果や参加者の感想より明日からの仕事への意欲へつながる研修会となった。また今後相談の場としての認定看護師の役割を再認識した。今後研修会の継続と新しくメール相談の企画し軌道に乗せていきたいと思う。

担当役員	監事	野崎 加世子
	理事	豊田 好美
	理事	田川 章江

4. 訪問看護事業所の BCP 作成支援事業

当協議会は今までも地域貢献活動に取り組んできたが、新たに収益化を踏まえ、BCP 作成支援を行う事になった。それは単に介護事業所に BCP 作成が義務付けられたからというわけではなく、新興感染症パンデミックの経験や繰り返される自然災害の脅威から、認定看護師として単なる講義ではなく伴走型として貢献したいとの思いがあったからだ。

運営委員は BCP 研修運営経験者、災害支援ナース、被災経験のある協議会会員、および参加意思のある会員から選出し、担当理事を含めた 7 名で取り組んだ。会議はすべてオンライン会議で実施した。当初現地に伺うことを想定し、対応エリアや手法をどうするか決定に時間を要した事や、一度目の募集で参加者ゼロだったためチラシと金額の無直しを行うなど予定の会議回数を越えてしまった。

結果 3 事業所を対象に実施することができた。オンラインであっても、ブレイクアウトルームにより個別相談対応を実現し、共有の時間で他事業所の取組にも触れ、大変満足とのアンケート結果を得ることができた。フリートークの感想で、「BCP 作成をとおして地域を見つめることができた」「有事の際にスタッフが現実的に動けるかなど考えることができた」「BCP 作成を通すことで事業所が成長できると感じた」との発言を耳にしたときは、BCP 作成の意味を参加者から学ぶことができたと感じ感慨深かった。

BCP 義務化ののちは見直しやマネジメント (BCM) が必要となってくる。おりしも、研修の途中、能登半島地震が発生した。どこでもいつでも災害は起こりえると突き付けられた思いだった。初年度の取組をもとにブラッシュアップして、引き続き協議会の地域貢献に寄与していきたい。

担当役員	理事	戸崎 亜紀子
	理事	廣川 直美

5. 報酬改定に向けた活動

2024年度の医療保険・介護保険の同時制度改定に向け、2018年から2021年度にかけて当協議会員に向けて行われたアンケートおよび調査結果をもとに、訪問看護認定看護師および在宅ケア認定看護師の視点としての制度改定への要望書を作成し、6月14日（水）、

『診療報酬改定要望書』を厚生労働省保険局保険局長 伊原和人氏へ、

『介護報酬改定要望書』を厚生労働省老健局老健局長 大西証史氏へ、

それぞれ提出した。

私たちの声が制度改定に活かされることを期待する。

次年度は、令和6年の医療保険・介護保険の同時制度改定の結果を踏まえ、協議会の会員皆様の意見を収集し、次回の改正の際に要望書を提出できるよう取り組んでいきたいと考えている。

担当役員 理事 平野 智子

別添資料

- 1 会員数及び9ブロック図
- 2 組織について
- 3 理事会の開催
- 4 会員活動調査集計結果（一部抜粋）

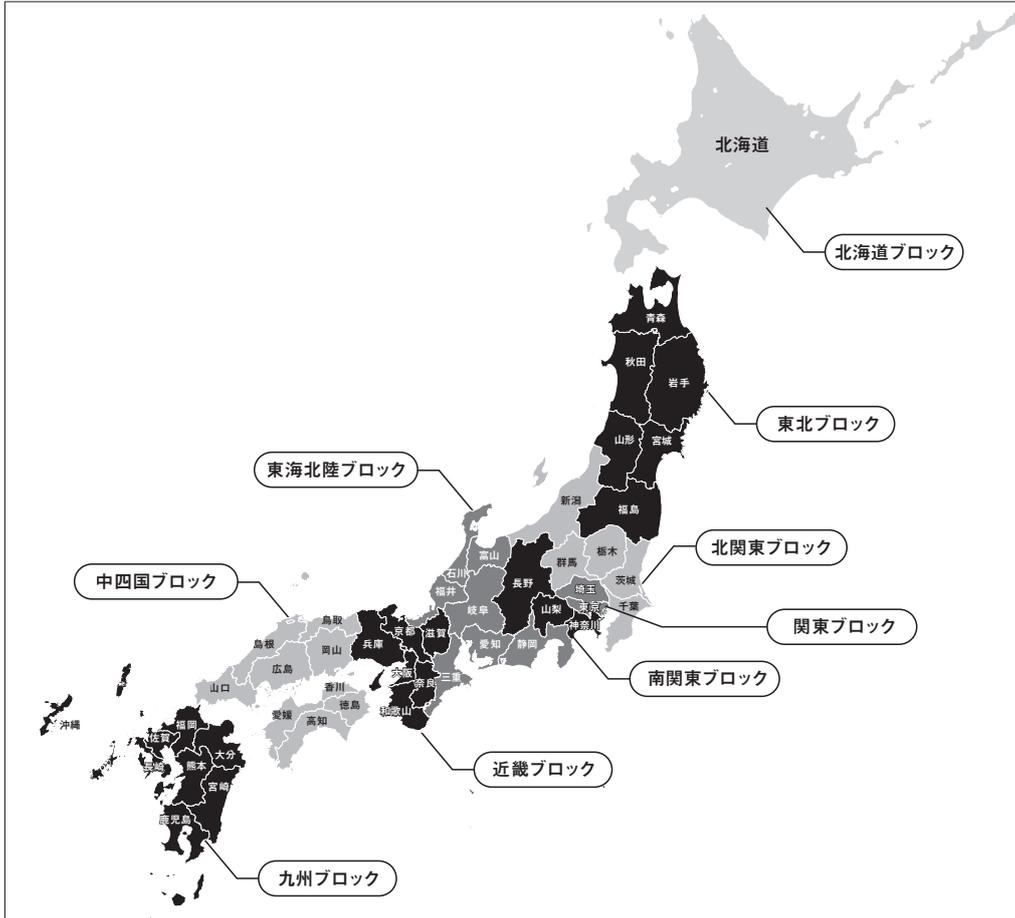
訪問看護認定看護師数・在宅ケア認定看護師数（日本看護協会 認定部資料）

1. 会員数（2024年2月29日現在）

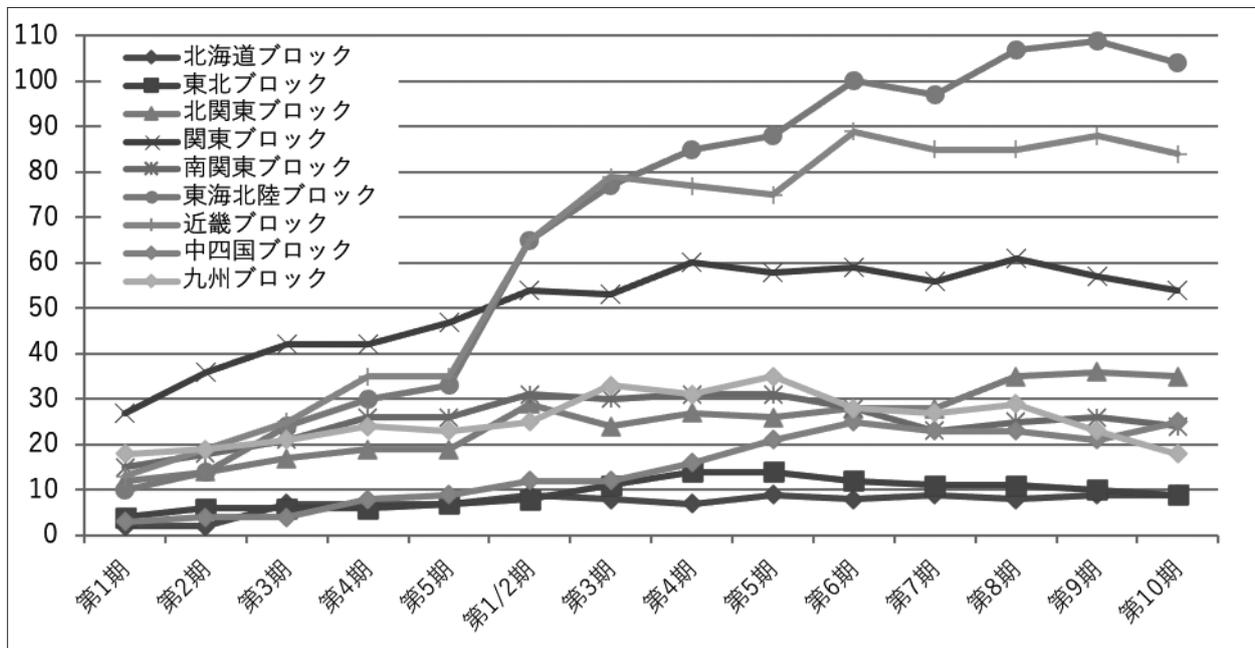
(1) 2023年度会員数

正会員 364名 ・ 賛助会員 8名

(2) 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会における9ブロック区分図

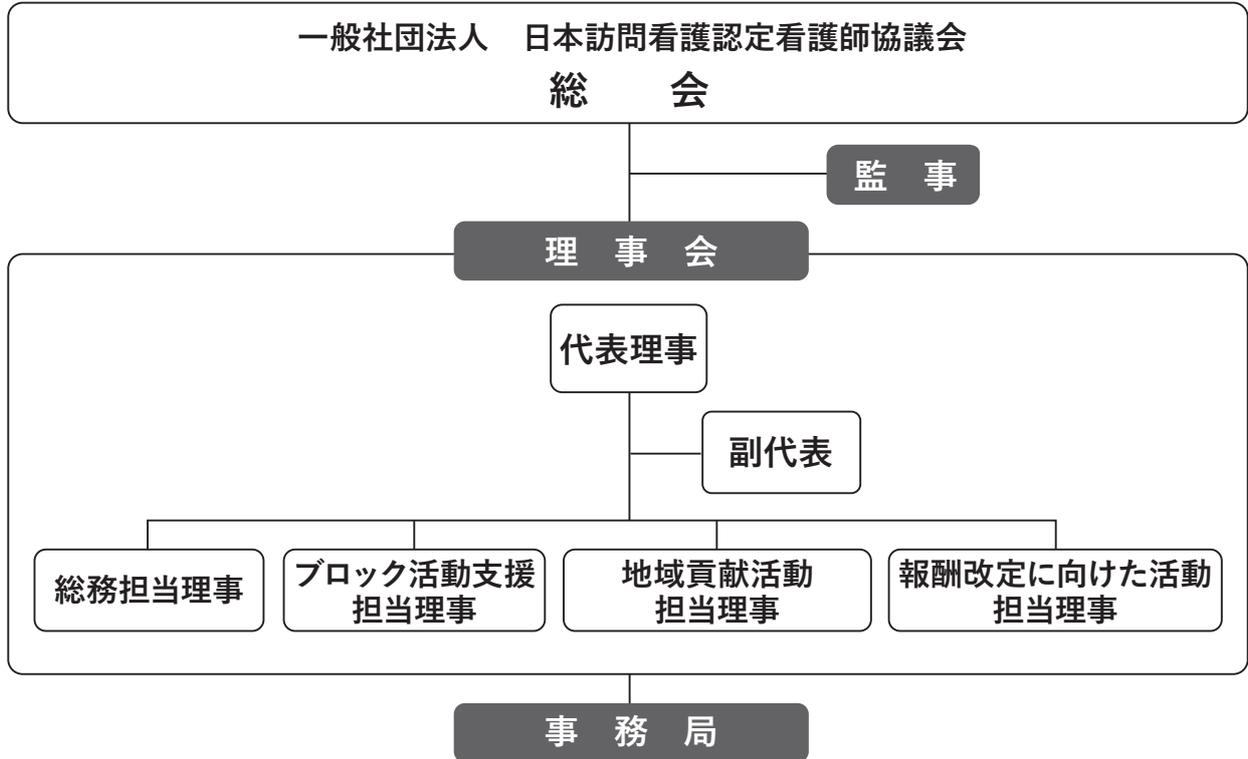


(3) ブロック別会員数の推移



2. 組織について

(1) 一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会における執行機関係統図



(2) 理事会・事務局名簿（ブロック順・敬称略）

〔理事〕

代表	大橋 奈美	医療法人ハートフリーやすらぎ 常務理事兼統括管理責任者 訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ
副代表	廣川 直美	ナースステーション東京 目黒支店 所長
	田川 章江	社会医療法人孝仁会 訪問看護ステーションはまなす
	戸崎 亜紀子	公益財団法人 星総合病院 法人在宅事業部
	山崎 佳子	株式会社 やさしい手 看護小規模多機能型居宅介護・かえりえ南佐津間 管理者
	平野 智子	特定非営利活動法人 訪問看護ステーションコスモス 所長
	豊田 好美	一般社団法人 横浜市旭区医師会旭訪問看護リハビリステーション
	松下 容子	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 所長
	田村 美樹枝	社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会松山訪問看護ステーション 所長
	川崎 幸栄子	公益社団法人 いちよしの樹 鹿児島看護専門学校 専任教員

〔監事〕 野崎 加世子 これからの在宅医療看護介護を考える会 代表

〔事務局〕 公益財団法人 日本訪問看護財団
常務理事 平原 優美 / 課長 高橋 洋子 / 村田 由香里

3. 理事会等の開催

(1) 理事会

事業推進の為、下表のとおり開催した。今期もコロナ禍のため、全会議Webでの開催となった。

第1回	2023年5月13日(土)	Zoomによるオンライン開催
第2回	2023年9月2日(土)	Zoomによるオンライン開催
臨時	2023年11月1日(水)	Zoomによるオンライン開催
第3回	2024年3月2日(土) 予定	Zoomによるオンライン開催を予定

(2) ブロック長会議

ブロック活動の活性化を図ることを目的とし、まずは2023年6月21日(水)にブロック活動支援担当理事と事務局で今期活動の方向性を確認し、下表のとおり開催した。

第1回	2023年7月8日(土)	Zoomによるオンライン開催
第2回	2023年8月26日(土)	Zoomによるオンライン開催
合同会議	2024年3月2日(土) 予定	Zoomによるオンライン開催

4. 会員活動調査集計結果

本協議会ではブロック活動の他に地域貢献を目的としたコンサルテーション活動など、協議会全体として取り組む活動がある。また、近年では、他団体からの協力依頼も頂くようになってきている。理事会では、このような活動を企画・運営する人員を会員から選出しているが、その時に活用するのが、会員活動調査である。毎年の年度末に会員へ調査の協力依頼を行い、そのデータを元に次年度の活動メンバー選出に活用している。

一方、この調査から、協議会会員の活動の多様性を見ることも出来たため、それを示せるデータを報告する。

「協議会会員の活動調査 2023年度版」より

調査時期：2023年2月1日～2023年3月31日

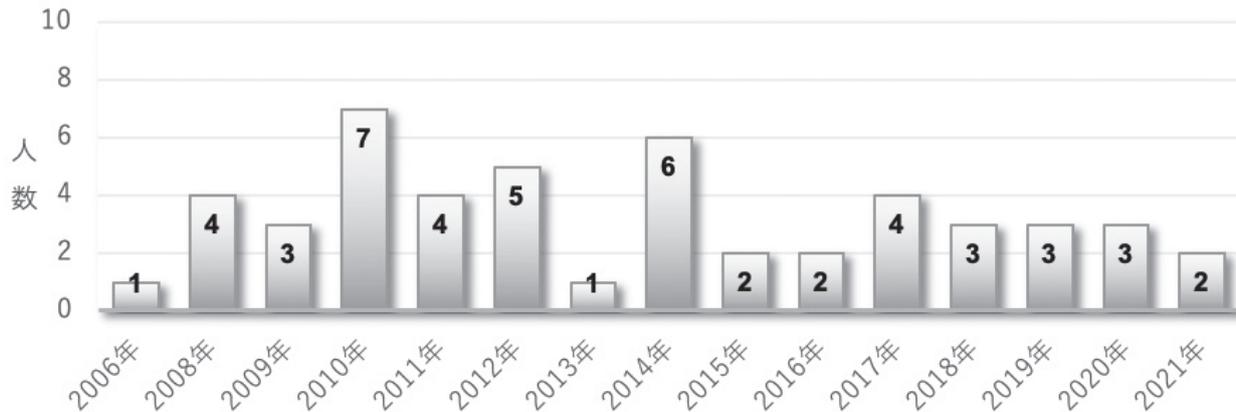
調査対象：一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会 正会員 373名

調査方法：Google フォームによるアンケート方式

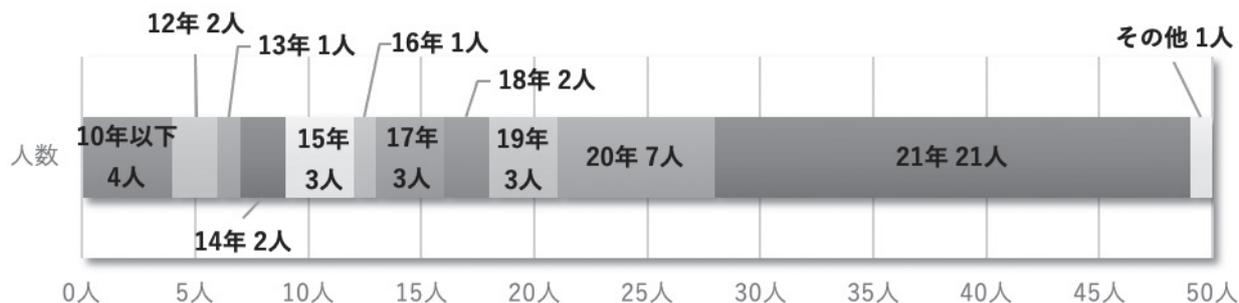
回答数：50名（回収率13.4%）

●回答者の情報

1) 回答者の認定取得年（n=50）

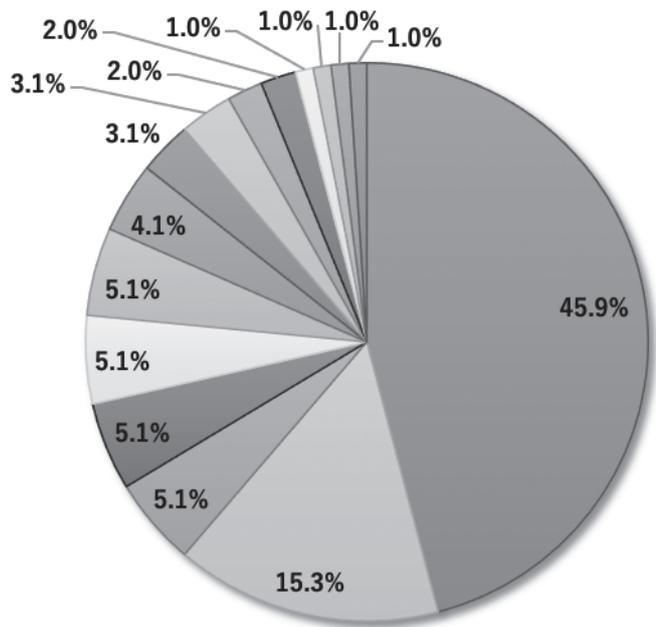


2) 回答者の訪問看護経験年数（n=50）



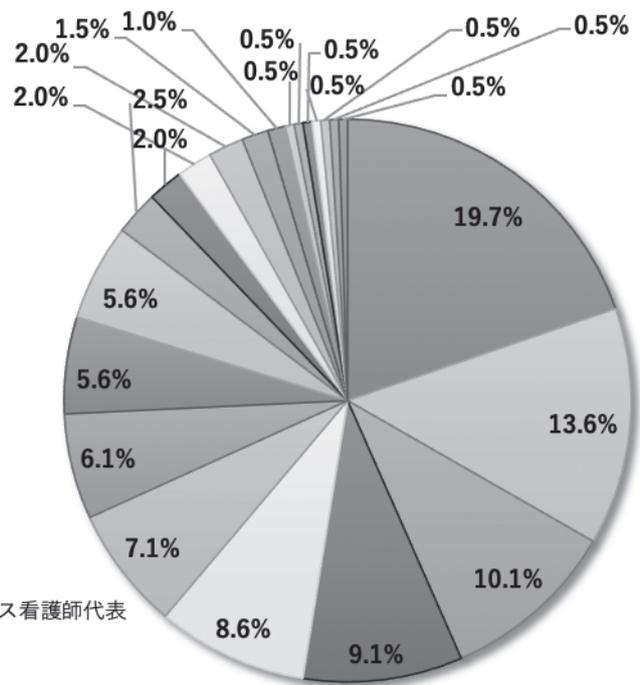
3) 回答者の所属先事業形態 (n=50 複数回答)

- 訪問看護
- 居宅介護支援
- 病院
- 訪問介護
- まちの保健室等の相談事業
- 教育機関
- 療養通所介護施設 (ナーシングデイ含)
- 児童発達支援・放課後等デイサービス
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 教育ステーション
- 定期巡回・随時対応型訪問看護介護看護
- 住宅型有料老人ホーム(ホームホスピス)
- 多世代交流センター
- サービス付き高齢者向け住宅保育園
- デイサービス宿泊施設

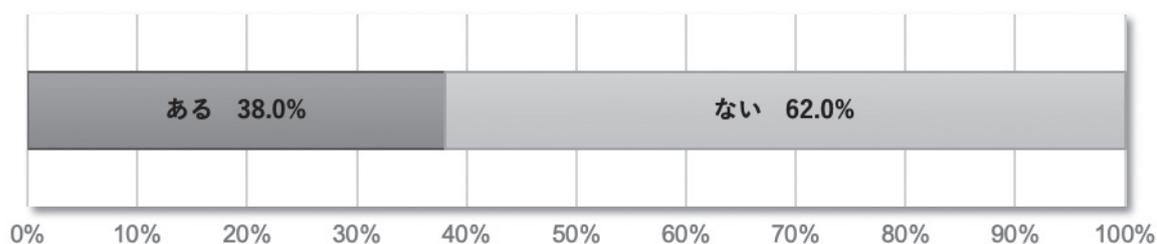


4) 回答者の業務外活動 (n=50 複数回答)

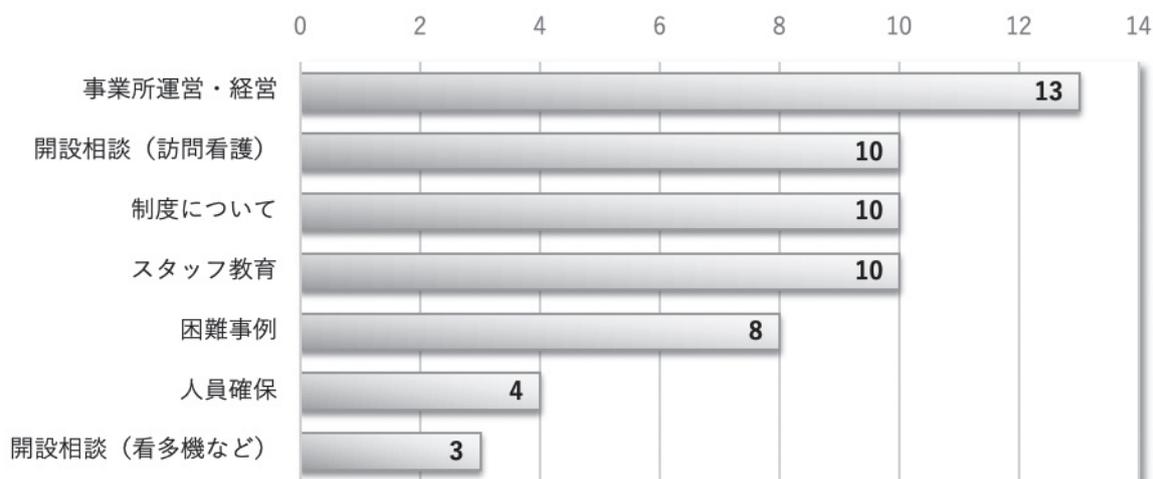
- 現任者や一般市民向け研修等の講師
- 学会や自治体、看護協会等における委員会活動
- 都道府県や市区町村の連絡協議会などへの参加
- 院内研修のプログラム担当、指導
- 自治体や看護協会等の委託事業
- 学会講師やシンポジスト等
- 研究発表の共同研究者
- 認定教育課程の研修者に対する実習指導
- 研究発表の筆頭者
- 認定教育機関での講師
- 論文の筆頭執筆
- まちの保健室等の相談活動
- 事業所運営 (経営) アドバイザー
- 論文等の共著者
- 災害支援
- 地域踊り保存会、町づくり委員会、日本在宅ケアアライアンス看護師代表
- 特定行為
- 特定行為研修の研修者に対する実習指導
- 特定看護師の活動支援
- 座長
- 看護大学の講師
- 査読委員



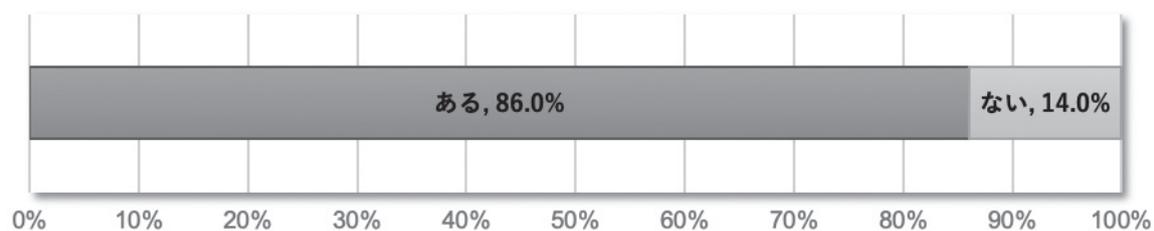
5) ここ5年以内に、相談や事業所アドバイザーの実施経験があるか？ (n=50)



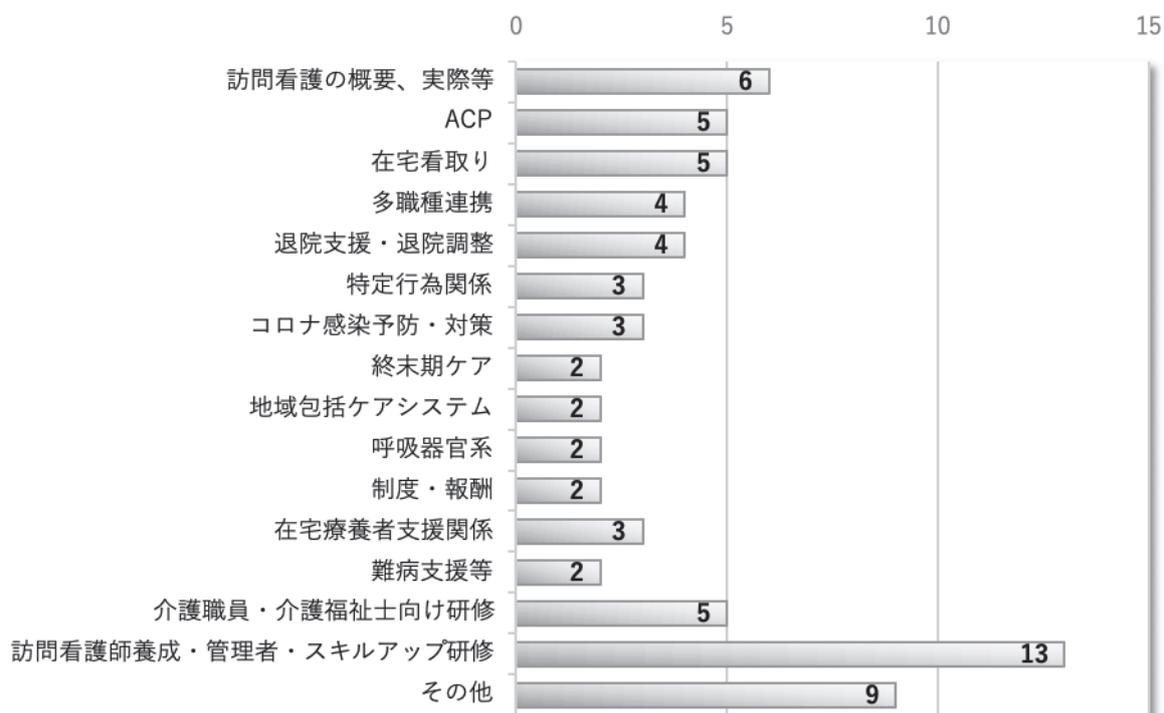
6) 実際に受けた相談内容 (n=19 複数回答)



7) 講義や講演を依頼され、実施したことがあるか？ (n=50)



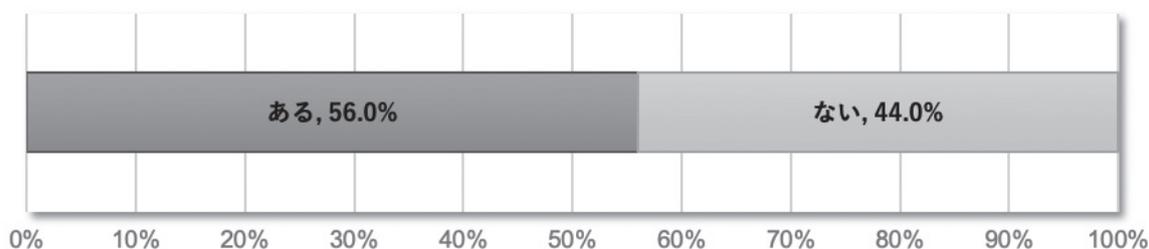
8) 実施した講義・講演のテーマ (n=43 複数回答)



その他については、「経営」「活動論」「在宅における災害」「フィジカルアセスメント」「困難ケース」「急変時の看護」「在宅でのパーキンソン病を考える会」「小児在宅医療における訪問看護の役割」「発生した褥瘡の治療と管理」があった。

また、講義の対象者は訪問看護師や病院看護師のほか、地域の専門職、学生、一般市民など、多岐にわたっていた。

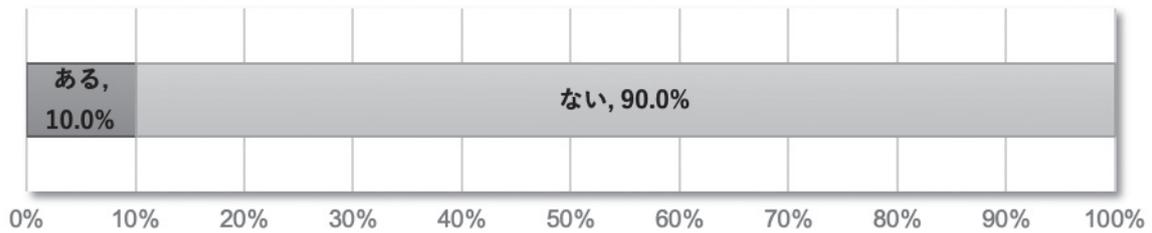
9) 研究や学会発表を行ったことがあるか？ (n=50)



研究テーマについては人材育成をテーマにしたものや、訪問看護師の役割に関するもの、事例を通したもの、看取り、多職種連携に関するテーマが見られた。

また、発表した学会は「日本在宅看護学会」が最も多く、次いで、各都道府県の看護学会、在宅ケア学会、死の臨床研究学会等があげられた。

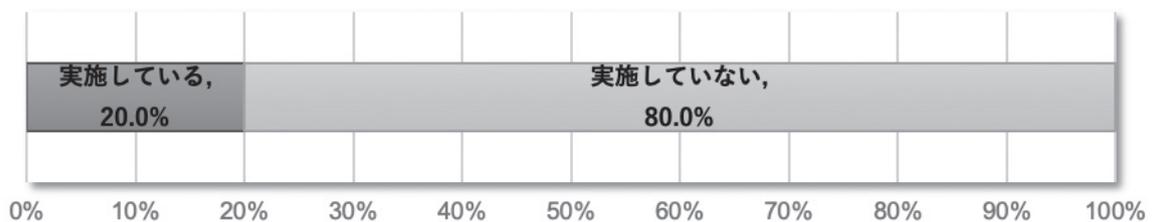
10) 特定行為研修を修了したか？ (n=50)



修了したと回答した方のうち、半数は特定認定看護師へ移行した。まだ移行していないと回答した方も、これから移行手続きを行う予定であった。

また、修了した分野は、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が最も多く、次いで「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」「ろう孔管理関連」「創傷管理関連」との回答であった。

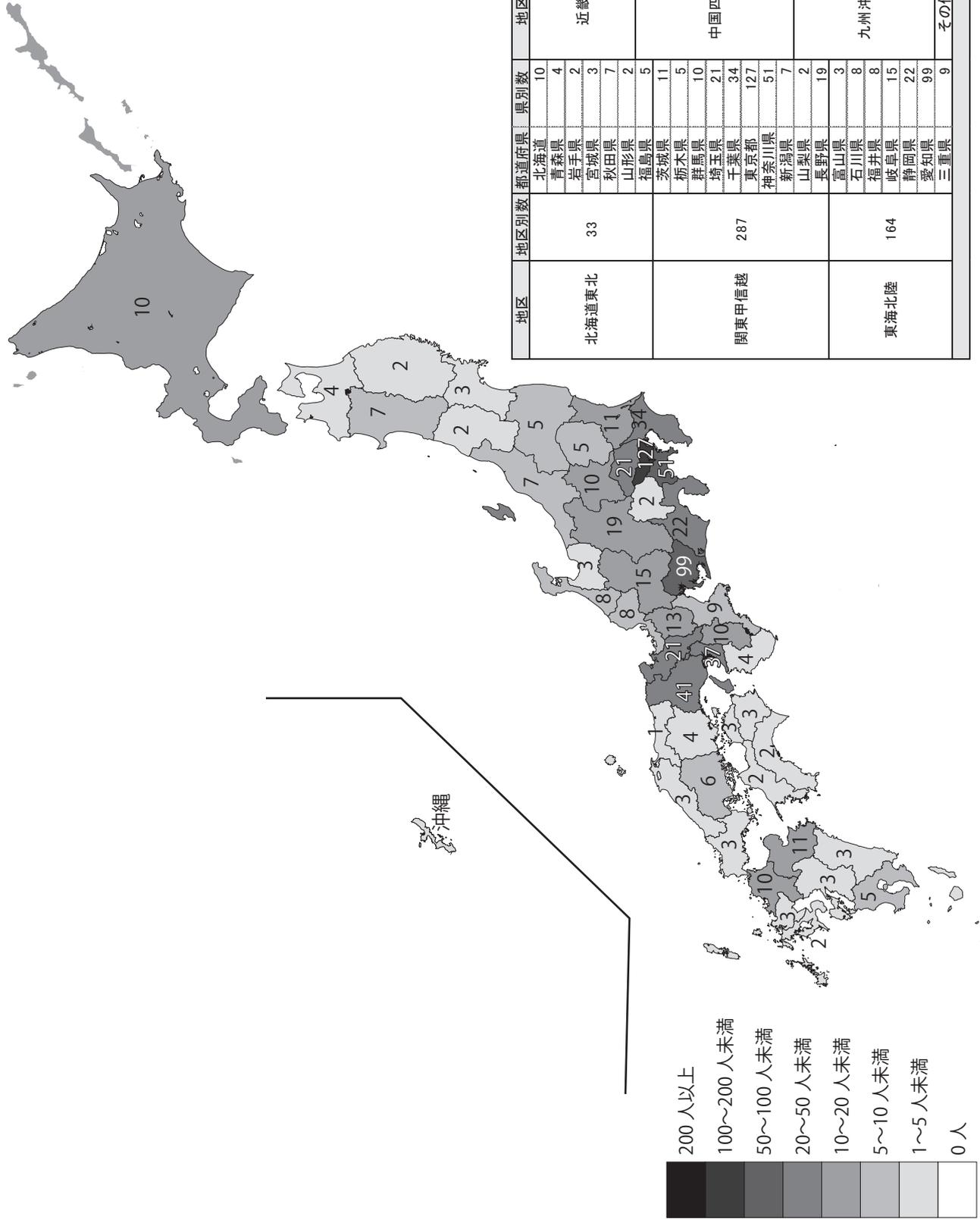
11) 特定行為研修を実施しているか？ (n=5)



実施していない理由は「まだ取得したばかり」「以前は実施していたが該当者がいないため」であった。

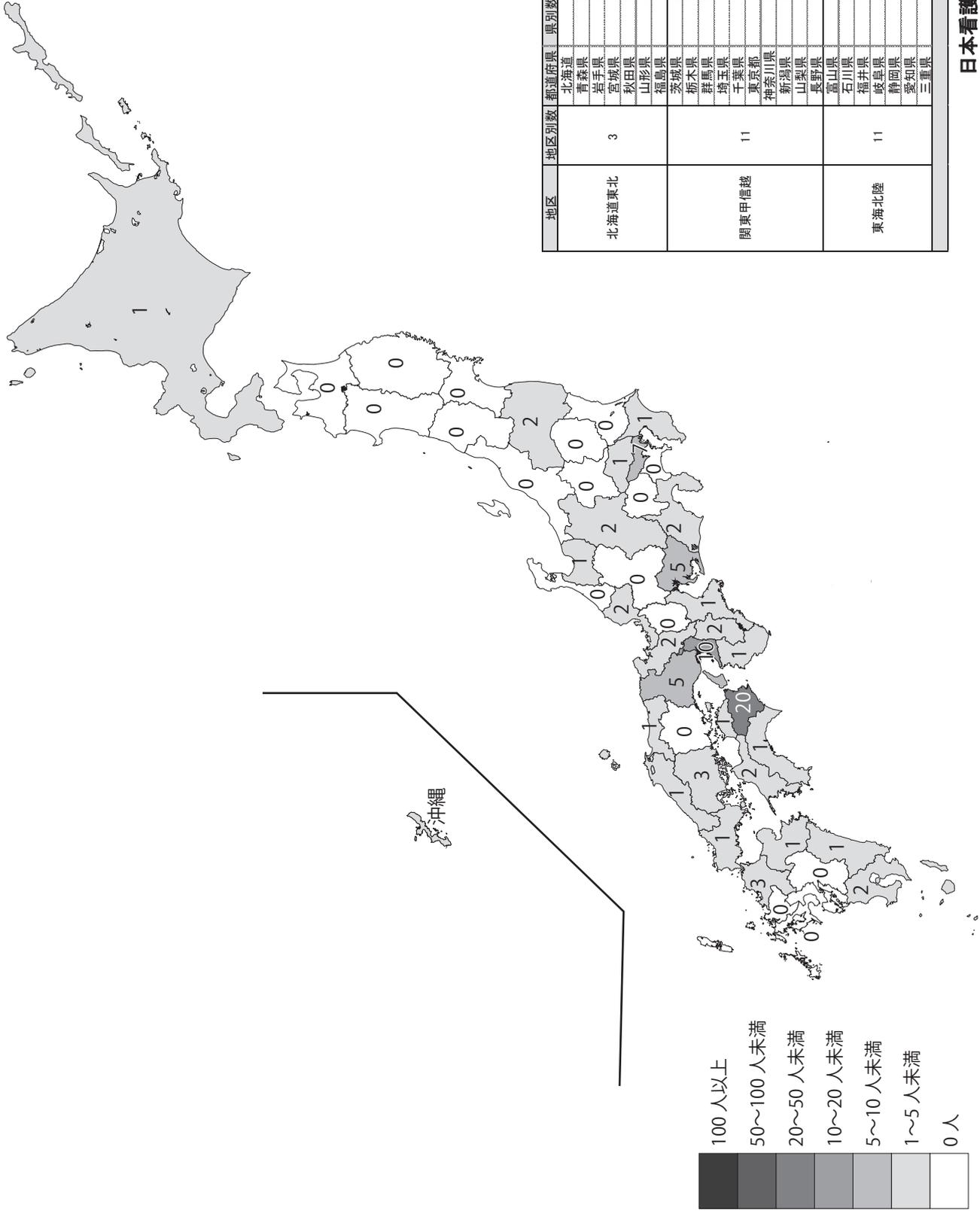
以上

【A 課程】訪問看護認定看護師数 677名



地区	地区別数	都道府県	県別数	地区	地区別数	都道府県	県別数
北海道東北	33	北海道	10	近畿	126	滋賀県	13
		青森県	4			京都府	21
		岩手県	2			大阪府	37
		宮城県	3			兵庫県	41
関東甲信越	287	秋田県	7	中国四国	27	奈良県	10
		山形県	2			和歌山県	4
		福島県	5			鳥取県	1
		茨城県	11			島根県	3
		栃木県	5			岡山県	4
		群馬県	10			広島県	6
		埼玉県	21			山口県	3
		千葉県	34			徳島県	3
		東京都	127			香川県	3
		神奈川県	51			愛媛県	2
		新潟県	7			高知県	2
		山梨県	2			福岡県	10
東海北陸	164	長野県	19	九州沖縄	40	佐賀県	3
		富山県	3			長崎県	2
		石川県	8			熊本県	3
		福井県	8			大分県	11
		岐阜県	15			宮崎県	3
		静岡県	22			鹿児島県	5
		愛知県	99			沖縄県	3
		三重県	9			(海外)	0
総数							677

【B 課程】在宅ケア認定看護師数 82名



2023 年度日本財団助成事業

訪問看護認定看護師による在宅ケア・在宅看取り活動の推進事業報告書

2024 年 3 月 31 日 印刷・発行

発行



一般社団法人 日本訪問看護認定看護師協議会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階

公益財団法人日本訪問看護財団内

TEL 03-5778-7008

FAX 03-5778-7009

URL <https://jvncna.net/>

印刷 株式会社 キリシマ印刷

● 記載事項の一部または全部について、許可なく複写・複製することを禁じます

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION